ONKYO

# CR-N765

## ネットワーク CD レシーバー

# 取扱説明書


各部の名前と主な働き .....9

準備する .....13

CD を再生する.....16

インターネットラジオを聴く .....19

USB ストレージの曲を
再生する .....22

iPod/iPhone を再生する.....24

AM/FM ラジオを聴く .....25

ホームネットワークを使う.....27

各種の設定.....30

困ったときは.....35


お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書と
ともに大切に保管してください。

Made for iPod iPhone

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

Ja

# 特長

### アンプ
- 再生周波数の広帯域化を図る WRAT（Wide Range Amplifier Technology）搭載
- LR 対称に設計されたアンプ回路搭載
- 3 段インバーテッドダーリントン回路搭載
- デジタル音声入力端子として、同軸 1 系統 / 光 1 系統装備
- アナログ音声入力端子 3 系統 / 出力端子 1 系統装備
- 信号とノイズ領域との近接を回避して、聴感上の S/N を向上させる、オプティマム・ゲイン・ボリューム回路
- SUBWOOFER PRE OUT 端子装備
- フルディスクリートの DIDRC (Dynamic Intermodulation Distortion Reduction Circuitry) ヘッドホンアンプ搭載

### CD プレーヤー
- 音楽 CD、MP3、WMA CD、CD-R/RW が再生可能
- 最大 25 曲のプログラム再生機能
- 2 つのリピート再生モード（1 曲 / 全曲）
- 3 つの再生モード（ノーマル / ランダム / メモリー）
- 飛躍的な音質向上、デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成する、VLSC（Vector Linear Shaping Circuitry）を L/R チャンネルに搭載

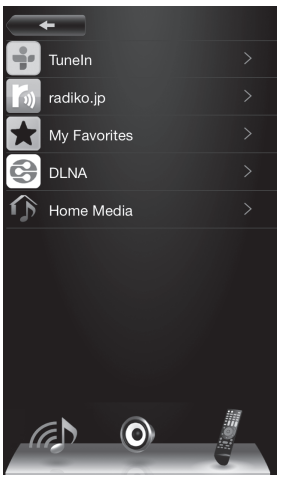
### ネットワーク
- DSD ネイティブ再生（2.8 MHz/5.6 MHz）に対応
- FLAC、WAV によるスタジオマスター 192 kHz/24 bit ハイレゾ音源の再生に対応
- Ethernet 経由でさまざまな音楽フォーマットに対応 MP3、WMA、WMA Lossless、WAV、AAC、FLAC、Ogg Vorbis、LPCM、Apple Lossless

### iPod®/iPhone®
- iPod/iPhone をデジタル接続できるフロント USB 端子装備

### USB インターフェース
- DSD ネイティブ再生（2.8 MHz/5.6 MHz）に対応（5.6 MHz はフロント USB 端子のみ）
- FLAC、WAV によるスタジオマスター 192 kHz/24 bit ハイレゾ音源の再生に対応
- より自然な音楽再生を実現するギャップレス再生に対応（WAV、FLAC、Apple Lossless）
- さまざまな音楽フォーマットに対応 MP3、WMA、WMA Lossless、WAV、AAC、FLAC、Ogg Vorbis、LPCM、Apple Lossless
- 3 つのリピート再生モード（1 曲 / 全曲 /1 フォルダ）
- 3 つの再生モード（ノーマル / ランダム /1 フォルダ）

### チューナーおよびその他
- AM/FM 合わせて最大 40 局までプリセット可能
- 指定した時間が経過すると、自動的にスタンバイ状態へ移行する、Sleep Timer 機能搭載
- 本機がスタンバイ状態時の USB 機器への電源供給の設定を指定する、SleepCharge 機能搭載
- 中音域の位相ずれを抑え、滑らかでパワフルな低域を増強する Phase-Matching Bass Boost システム搭載
- 圧縮された音楽ファイルを、より良い音で楽しむ Music Optimizer™ 機能搭載
- 音声入力が無く、無操作の状態で一定時間経つと、本機が自動的にスタンバイ状態に移行する、Auto Standby 機能搭載
- ステレオミニプラグ（φ3.5 mm）のヘッドホン端子装備
- バナナプラグ対応の金メッキスピーカー端子搭載
- アルミニウム製フロントパネル、ボリュームノブ採用
- オンキヨー製RIドックの操作を可能にするリモコン付属

### Onkyo Remote（アプリ）に対応




- スマートフォンが本機のリモコンとなり、入力ソース切り換えや音量調整などの基本操作が可能
- インターネットラジオ、DLNA などのネットワークサービスの選曲を GUI 画面で直観的に操作
- スマートフォンに保存された音楽データをストリーミング再生
- iPod touch/iPhone と Android OS 搭載のスマートフォンに対応

Apple の App Store や Google Play でアプリをダウンロード ( 無償 ) してください。なお、アプリの使用には無線 LAN 環境が必要です。また、ネットワークサービスはサービスプロバイダーがサービスを終了すると利用できなくなる場合があります。

# 目次


**特長** 2

**安全上のご注意** 4

**付属品** 8

**取り扱いについて** 8

**各部の名前と主な働き** 9
- 前面パネル 9
- 表示部 10
- 後面パネル 11
- リモコン 12

**準備する** 13
- 1. スピーカーを接続する 13
- 2. AM/FM アンテナを接続する 13
- 3. ネットワークに接続する 14
- 4. 外部機器を接続するには 14
- 5. 電源コードを接続する 15
- 6. 電源を入れる 15

**CD を再生する** 16
基本操作 16
曲を選択する 17
- 音楽 CD の曲を選択する（ダイレクトプレイ） 17
- MP3/WMA ディスクの曲を選択する 17

メモリー再生 18
ランダム再生 18
リピート再生 18

**インターネットラジオを聴く** 19
TuneIn 19
radiko.jp 20
お好きなラジオ局を登録する (My Favorites) 20
- My Favorites に登録する 20
- 登録したラジオ局を聴く 21

**USB ストレージの曲を再生する** 22
基本操作 22
ランダム再生 23
リピート再生 23

**iPod/iPhone を再生する** 24

**AM/FM ラジオを聴く** 25
放送局を選局する 25
- 自動で選局する 25
- 手動で選局する 25
- 周波数を直接入力する 25

放送局を登録する 25
- 自動で登録する 25
- 手動で登録する 26
- 登録した放送局を聴く 26

**ホームネットワークを使う** 27
DLNA 対応機器の音楽を再生する 27
- Windows Media Player の設定をする 27
- 本機を操作して再生する 27
- リモート再生する 28

共有フォルダの音楽を再生する (Home Media) 28
- Windows の設定をする 28
- 再生する 29

**各種の設定** 30
- 音質の設定 30
- 文字の入力 30
- スリープタイマー 30
- メニュー設定 31
- ファームウェアアップデート 32

**困ったときは** 35

**仕様** 38

**対応機器 / メディアとファイル形式** 39
対応機器 / メディア 39
ファイル形式 41

**商標** 42

**ご相談窓口・修理窓口のご案内** 43

# 安全上のご注意

**安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。**
電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

**「警告」と「注意」の見かた**：間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

**⚠警告** 誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

**⚠注意** 誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

**絵表示の見かた**：

感電注意

△ 記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

分解禁止

⃠ 記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

必ずする

● 記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

## ⚠ 警告

電源プラグをコンセントから抜く

**故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く**
- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解禁止

**カバーははずさない、分解、改造しない**
火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

**接続、設置に関するご注意**

禁止

**通風孔をふさがない、放熱を妨げない**
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。
- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
  （本機の天面、横から 20 cm 以上、背面から 10 cm 以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

**水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない**
本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

禁止

**ETHERNET ポートには電話回線を接続しない**
本機の ETHERNET ポートに以下のネットワークや回線を接続すると、必要以上の電流が流れ、故障や火災の原因となります。
- 一般電話回線
- デジタル式構内交換機（PBX）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

**電源コード・電源プラグに関するご注意**

禁止

**電源コードを傷つけない**
- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

必ずする

**電源プラグは定期的に掃除する**
電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。
電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

# ⚠ 警告

**使用上のご注意**

禁止

**本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない**
火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔、ディスク挿入口から異物を入れない
- 本機の上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

禁止

**長時間音がひずんだ状態で使わない**
アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

指のけがに注意

**ディスク挿入口に手を入れない**
けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

禁止

**ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない**
ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

禁止

**レーザー光源をのぞき込まない**
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

接触禁止

**雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない**
感電の原因となります。

禁止

**長期間大きな音で使用しない**
本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

**電池に関するご注意**

禁止

**乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない**
電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

接触禁止

**電池から漏れ出た液にはさわらない**
万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

# ⚠ 注意

**接続、設置に関するご注意**

禁止

**不安定な場所や振動する場所には設置しない**
強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

**本機の上に 10kg 以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない**
バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

注意

**配線コードに気をつける**
配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

必ずする

**屋外アンテナ工事は販売店に依頼する**
アンテナ工事には技術と経験が必要です。

**電源コード・電源プラグに関するご注意**

必ずする

**表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する**
本機を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

禁止

**電源コードを束ねた状態で使用しない**
発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない**
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。プラグを持って抜いてください。

電源プラグをコンセントから抜く

**電源を完全に遮断するには、電源プラグをコンセントから抜く**
電源プラグを抜き差ししやすい場所に本機を設置してください。

電源プラグをコンセントから抜く

**長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く**
絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

禁止

**電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む**
差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

ぬれ手禁止

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

**お手入れの際は電源プラグを抜く**
お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

# ⚠ 注意

**使用上のご注意**

高温注意

**通風孔の温度上昇に注意**
本機通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

禁止

**音量を上げすぎない**
- 突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

禁止

**キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない**
磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったりデータが消失することがあります。

**移動時のご注意**

電源プラグをコンセントから抜く

**移動時は電源プラグや接続コードをはずす**
コードが傷つき火災や感電の原因になります。

禁止

**本機の上にものを乗せたまま移動しない**
本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因になります。

**機器内部の点検について**
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をお勧めします。本機の内部にほこりのたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

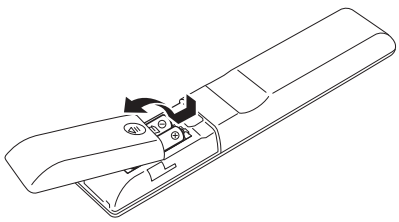
**本機のお手入れについて**
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

# 付属品

■ リモコン (RC-850S) × 1
■ リモコン用乾電池（単 4 形、R03）× 2
■ 電源コード × 1
■ AM 室内アンテナ × 1
■ FM 室内アンテナ × 1
■ 保証書 × 1
* カタログおよび包装箱などに表示されている、型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

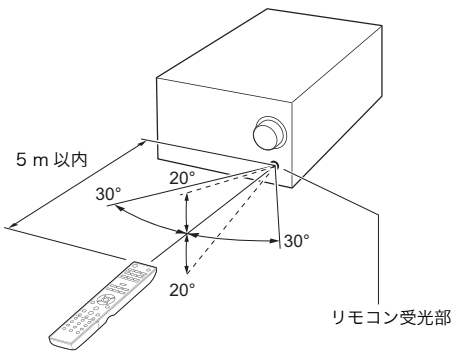
### リモコンの使い方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの (+) と (–) の表示に合わせて乾電池 ( 単 4 形、R03) 2 本を入れて、フタを閉めてください。



操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。
乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがありますのでご注意ください。

- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために、電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと、腐食によりリモコンをいためることがあります。




リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5 m 以内の距離で操作してください。

- 本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本体を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線を使用する他の機器を誤動作させることがあるのでご注意ください。

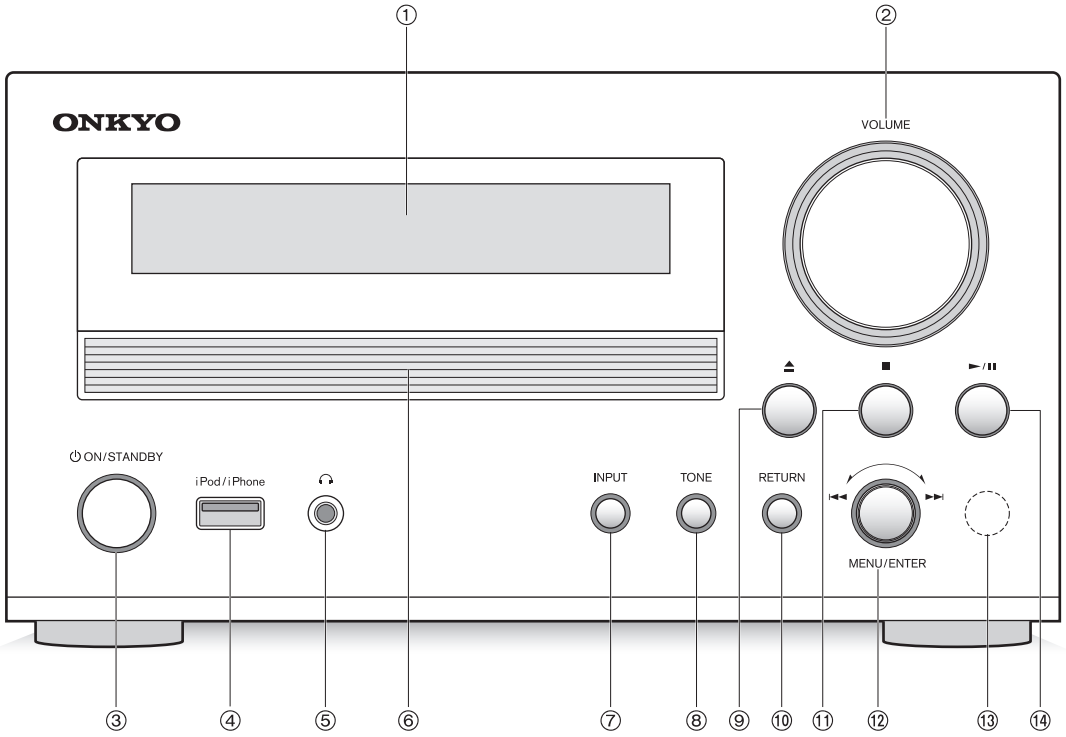
# 取り扱いについて

### 使用上の注意

直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
本機の上には何も乗せないでください。通風孔がふさがれて危険です。
再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因になります。

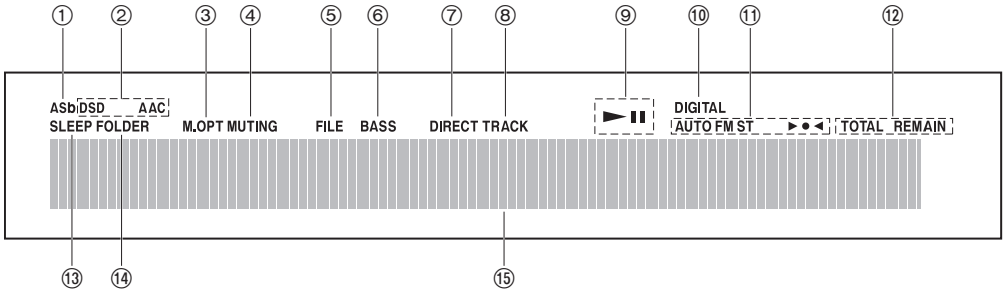
**結露について**：本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露している恐れがある場合は、電源コードを抜き、3 時間以上室温で放置してからご使用ください。

# 各部の名前と主な働き




## 前面パネル

① **表示部**
② **ボリュームつまみ** : 音量を調整します。
③ **⏻ ON/STANDBY ボタン** : 電源のオン / スタンバイを切り換えます。
④ **USB 端子** : iPod/iPhone または USB ストレージを接続します。
⑤ **ヘッドホン端子** : ヘッドホンのステレオミニプラグを接続します。本機の音量を下げてから接続してください。ヘッドホンを接続すると、スピーカーからは音声が出力されません。
⑥ **ディスクトレー**
⑦ **入力切換 (INPUT) ボタン** : ボタンを押すたびに、入力ソースが切り換わります。
⑧ **トーン (TONE) ボタン** : 音質を調整します。
⑨ **トレー開閉 (⏏) ボタン**
⑩ **リターン (RETURN) ボタン** : メニュー表示中に押すと前のメニューに戻ります。
⑪ **停止 (■) ボタン**
⑫ **メニュー / エンター (MENU/ENTER) ボタン**
**スキップ (I◀◀ / ▶▶I) ダイヤル** : 右に回すと次の曲に、左に回すと前の曲にスキップします。メニュー表示中に回すと、表示項目や設定値の変更ができます。押すと、エンター (ENTER) ボタンとして各設定を確定します。長押しすると、メニュー (MENU) ボタンとして働きます。
⑬ **リモコン受光部**
⑭ **再生 / 一時停止 (►/II) ボタン**

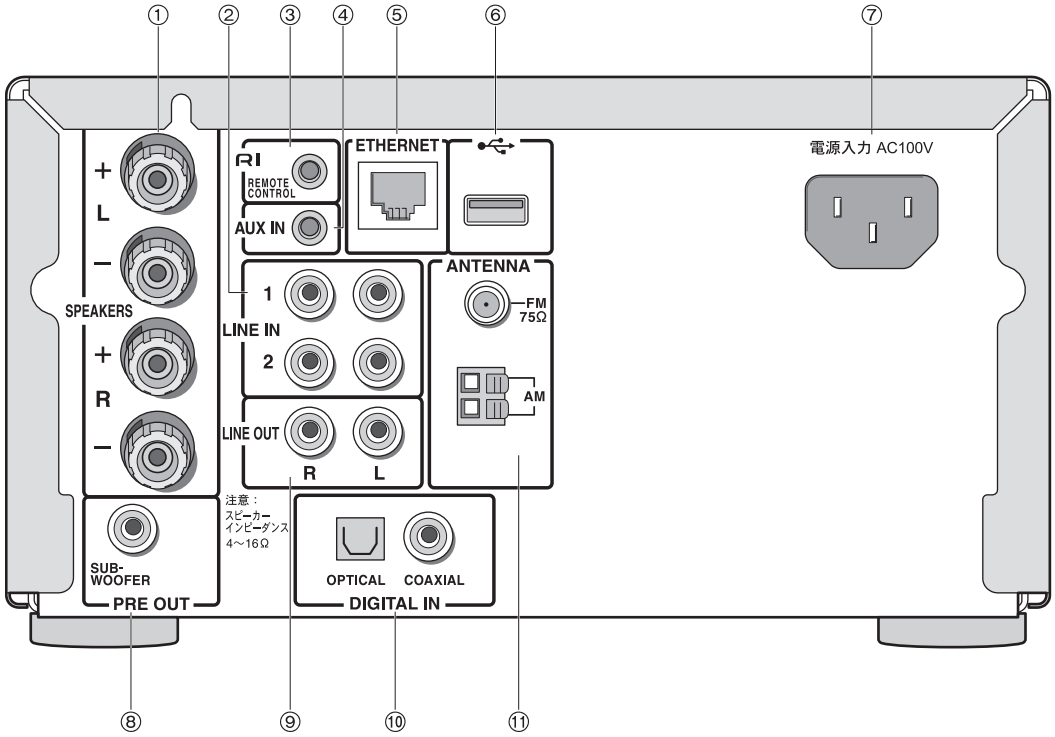



## 表示部

① **オートスタンバイ (ASb)** : オートスタンバイ (Auto Standby) がオンに設定されているときに点灯します。
② **フォーマット** : DSD、AAC フォーマットの音楽ファイルを再生すると DSD、AAC がそれぞれ点灯します。
③ **ミュージックオプティマイザー (M.OPT)** : ミュージックオプティマイザー (M.OPT) がオンに設定されているときに点灯します。
④ **ミューティング (MUTING)** : 一時的に消音しているときに点滅します。
⑤ **ファイル (FILE)** : ソースが CD のとき、音楽ファイルを記録したディスクを挿入するとファイルインジケーターが点灯し、インジケーターの下にファイル数またはファイル番号が表示されます。
⑥ **バス (BASS)** : 音質設定でフェーズマッチングバス (PM.Bass) がオンに設定されているときに点灯します。
⑦ **ダイレクト (DIRECT)** : 音質設定でダイレクト (Direct) がオンに設定されているときに点灯します。
⑧ **トラック (TRACK)** : ソースが CD のとき、音楽 CD を挿入するとトラックインジケーターが点灯し、インジケーターの下にトラック数またはトラック番号が表示されます。
⑨ **再生 / 一時停止 (▶/❚❚)**
⑩ **デジタル (DIGITAL)** : ソースが OPTICAL/COAXIAL のとき、以下の状態になります。
点灯 : デジタル音声入力信号を受信しているとき
点滅 : デジタル音声入力信号を受信していないとき
⑪ **AM/FM 受信状態**
AUTO : 自動選局モードを選ぶと点灯します。
FM ST : FM ステレオ放送を受信すると点灯します。
▸●◂ : 放送局を受信すると点灯します。
⑫ **トータル / リメイン (TOTAL/REMAIN)** : ソースが CD のとき、以下のディスク情報を表示中に点灯します。
TOTAL : ディスクの総再生時間
REMAIN : 再生中の曲の残り時間
TOTAL REMAIN : 再生中のディスクの残り時間
⑬ **スリープ (SLEEP)** : スリープタイマーが設定されていると点灯します。
⑭ **フォルダ (FOLDER)** : ソースが CD のとき、音楽ファイルを記録したディスクを挿入するとフォルダインジケーターが点灯し、インジケーターの下にフォルダ数またはフォルダ番号が表示されます。
⑮ **メッセージ表示部** : 曲の情報やメニューを表示します。
以下のアイコンが表示されます。

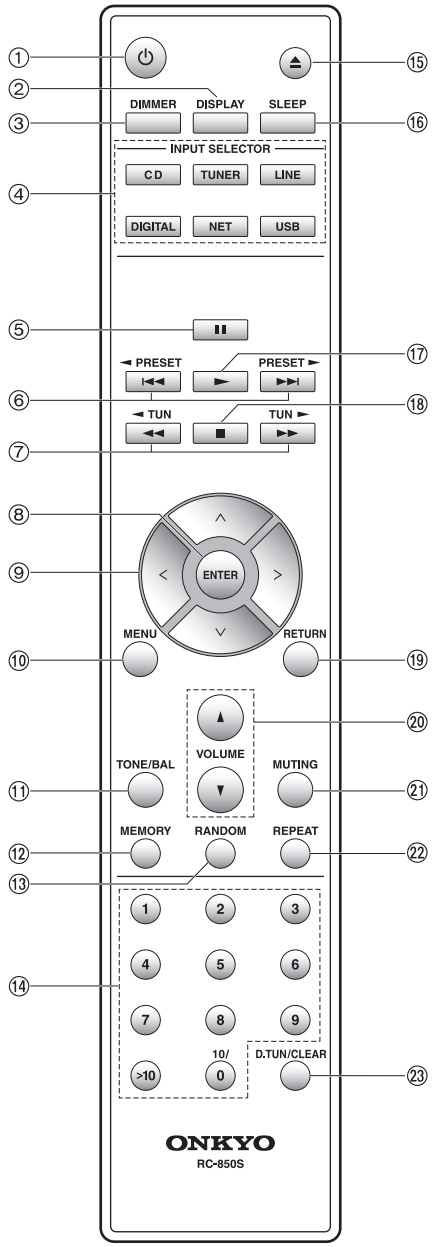
: フォルダ *
: 曲 / 放送局名
: 再生中 *
: 一時停止 *
: 早送り *
: 早戻し *
: アーティスト
: アルバム
: リピート
: 1 曲リピート
: フォルダリピート *
: メモリー **
: ランダム
: ネットワークスタンバイ中

* ソースが CD のときは表示されません。
** ソースが CD のときのみ表示されます。




## 後面パネル

① **SPEAKERS 端子** : スピーカーを接続します。
② **LINE IN 端子** : アナログ音声の入力端子です。オンキヨー製 RI ドックやカセットテープデッキ等を接続します。
③ **RI REMOTE CONTROL 端子** : RI 端子付きオンキヨー製 RI ドックを接続します。
④ **AUX IN 端子** : ステレオミニプラグを接続します。
⑤ **ETHERNET 端子** : LAN ケーブルを接続します。
⑥ **USB 端子** : USB ストレージを接続します。
⑦ **電源入力 AC100V 端子** : 付属の電源コードを接続します。
⑧ **SUBWOOFER PRE OUT 端子** : アンプ内蔵サブウーファーを接続します。
⑨ **LINE OUT 端子** : アナログ音声の出力端子です。カセットテープデッキ等の録音機器を接続します。
⑩ **DIGITAL IN OPTICAL/COAXIAL 端子** : デジタル音声の入力端子です。
⑪ **FM 75Ω/AM ANTENNA 端子** : 付属のアンテナを接続します。




本書では、特に指定のない限りリモコンを使った手順を説明しています。本体の同じ機能のボタンもお使いいただけます。

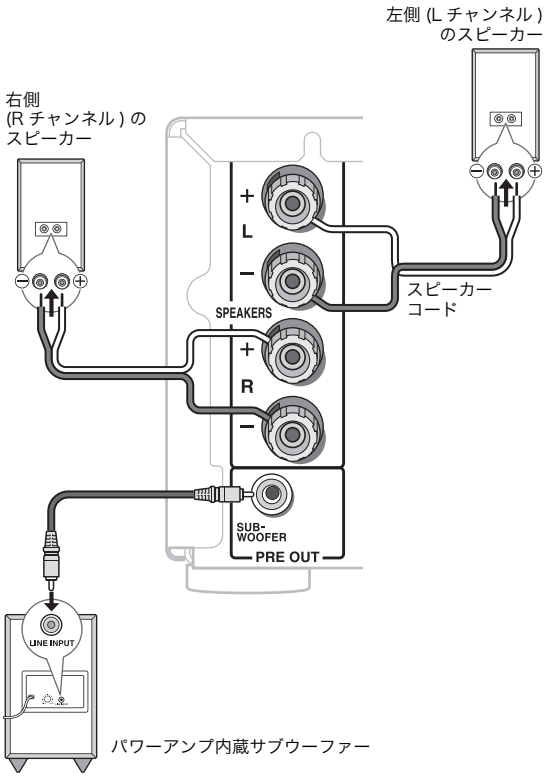
## リモコン

① ⏻ **ボタン** : 電源のオン / スタンバイを切り換えます。
② **ディスプレー (DISPLAY) ボタン** : 表示される情報を変更します。
③ **ディマー (DIMMER) ボタン** : 表示部の明るさを通常、やや暗い、暗いの 3 段階で切り換えます。
④ **入力切換 (INPUT SELECTOR) ボタン** : 入力ソースを切り換えます。
**CD ボタン** : CD を再生するときに使用します。
**TUNER ボタン** : AM/FM ラジオを聴くときに使用します。押すたびに「AM」と「FM」が切り換わります。
**LINE ボタン** : アナログ接続で外部機器の音楽を聴くときに使用します。押すたびに「AUX IN」、「LINE1」、「LINE2」が切り換わります。
**DIGITAL ボタン** : デジタル接続で外部機器の音楽を聴くときに使用します。押すたびに「OPTICAL」と「COAXIAL」が切り換わります。
**NET ボタン** : インターネットラジオを聴くとき、またはホームネットワークを使うときに使用します。
**USB ボタン** : USB ストレージまたは iPod/iPhone の音楽を聴くときに使用します。押すたびに「USB(F)」(前面パネル) と「USB(R)」(後面パネル) が切り換わります。
⑤ **一時停止 (❚❚) ボタン**
⑥ **スキップ (⏮/⏭)/**
**プリセット (◄ PRESET/PRESET ►) ボタン**
⑦ **サーチ (◀◀/▶▶)/**
**チューニング (◄ TUN/TUN ►) ボタン**
⑧ **エンター (ENTER) ボタン** : メニューの選択や設定値を確定するときに使用します。
⑨ **方向 (∧/∨/</>) ボタン**
⑩ **メニュー (MENU) ボタン** : メニューを表示するときに押します。
⑪ **トーン / バランス (TONE/BAL) ボタン** : 音質を調整します。
⑫ **メモリー (MEMORY) ボタン**
⑬ **ランダム (RANDOM) ボタン**
⑭ **数字ボタン**
⑮ **トレー開閉 (⏏) ボタン**
⑯ **スリープ (SLEEP) ボタン** : スリープタイマーを設定します。
⑰ **再生 (▶) ボタン**
⑱ **停止 (■) ボタン**
⑲ **リターン (RETURN) ボタン** : ひとつ前の表示に戻ります。
⑳ **ボリューム (VOLUME ▲/▼) ボタン**
㉑ **ミューティング (MUTING) ボタン** : 一時的に消音します。
㉒ **リピート (REPEAT) ボタン**
㉓ **周波数直接入力 / クリア (D.TUN/CLEAR) ボタン** : AM/FM ラジオの周波数を直接入力するときや文字入力をクリアするときなどに使用します。

# 準備する

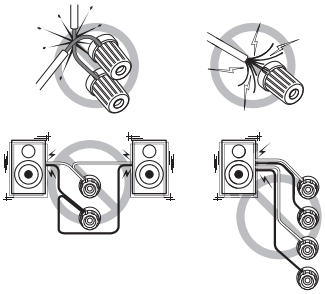
## 1. スピーカーを接続する

イラストを参照して、スピーカーコードで左右のスピーカーシステムを接続します。向かって右側に設置するスピーカーは本機の SPEAKERS 端子（R）に、左側に設置するスピーカーは SPEAKERS 端子（L）に接続してください。また、本機は SUBWOOFER PRE OUT 端子を装備していますので、パワーアンプ内蔵サブウーファーを接続して低音再生を増強することができます。
**重要**：スピーカーはインピーダンスが 4Ω ～ 16Ω のものを接続してください。4Ω 未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。

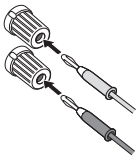


スピーカーコードは先端のビニールを切り取って芯線をよじって端子に接続してください。その際に、本機の端子のプラス (+) 側とスピーカー端子の (+) 側を、マイナス (–) 側はマイナス (–) 側とを、チャンネルごとに必ず合わせて接続してください。間違って接続すると、位相が逆になり低音が出にくくなります。

- プラスのコードとマイナスのコードをショートさせたり、コードの芯線を本機の後面パネルと接触させると故障の原因になります。また 1 つのスピーカー端子に 2 本以上のコードを接続したり、1 台のスピーカーを複数の端子に接続しないでください。

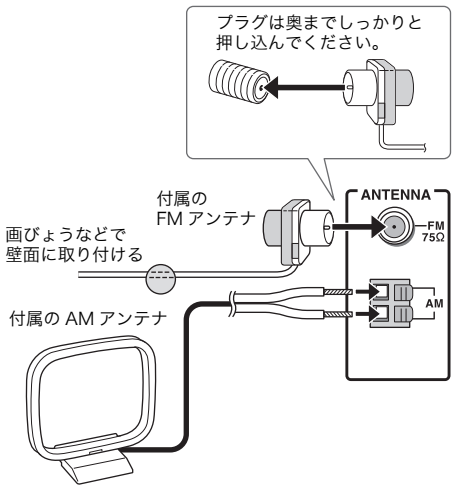


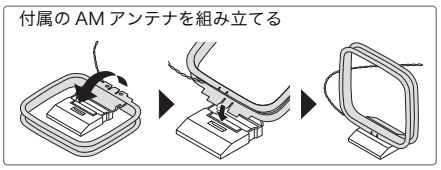
- バナナプラグをご使用の場合は、スピーカー端子をしっかり締めてから、バナナプラグを挿入してください。スピーカーコードの芯線を、スピーカー端子のバナナプラグ用の穴に直接挿入して接続しないでください。



## 2. AM/FM アンテナを接続する

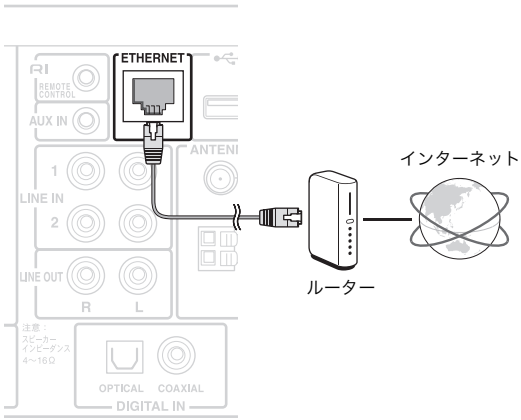
AM/FM 放送を聴く場合は、必ずアンテナを接続してください。初めて放送を聴くときに、放送を聴きながら受信状態が良好になるようアンテナの位置を変えたり向きを調整してください。



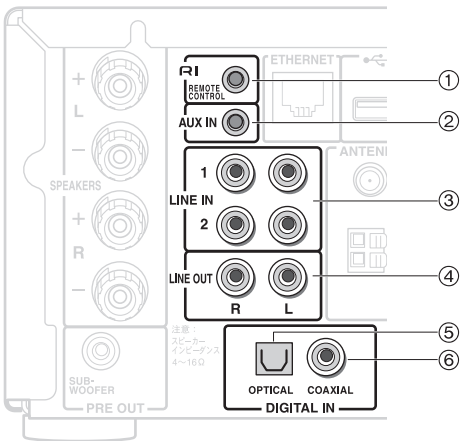
## 3. ネットワークに接続する

LAN に接続して、インターネットラジオやホームネットワーク機能を楽しむことができます。ETHERNET 端子に LAN ケーブルを接続してください。




- CAT-5 に適合した LAN ケーブルをご使用ください。
- 各ネットワーク機器やインターネットへの接続には、個々の機器の設定が必要になります。これらの設定については、各機器の取扱説明書をご覧いただくか、メーカー /ISP ( インターネットサービスプロバイダ ) にご確認ください。

## 4. 外部機器を接続するには




① RI REMOTE CONTROL ( オンキヨー製 RI ドックの接続 )
使用するケーブル：RI ケーブル
接続すると、本機のリモコンで RI ドックを操作できます。
RI 機能を使用する場合、入力ソース名を「DOCK」に変更する必要があります。詳細は「各種の設定」の「メニュー設定」の「Sel Change (Selector Change)」をご覧ください。
- RI ドックの再生が始まると、入力ソースが自動で「DOCK」に切り換わります。
- RI ドックの接続や操作についての詳細は、RI ドックの取扱説明書をご覧ください。

② AUX IN ( アナログ音声入力)
使用するケーブル：ステレオミニプラグ (φ3.5 mm)
接続機器の音楽を聴くには、LINE ボタンをくり返し押して入力ソースを「AUX IN」に切り換えてください。

③ LINE IN ( アナログ音声入力)
使用するケーブル：オーディオ用ピンケーブル
接続機器の音楽を聴くには、LINE ボタンをくり返し押して入力ソースを「LINE1」または「LINE2」に切り換えてください。

④ LINE OUT ( アナログ音声出力 )
使用するケーブル：オーディオ用ピンケーブル
カセットテープデッキ等の録音機器と接続します。

⑤ DIGITAL IN OPTICAL（デジタル音声入力）
使用するケーブル：光デジタルケーブル
接続機器の音楽を聴くには、DIGITAL ボタンをくり返し押して入力ソースを「OPTICAL」に切り換えてください。
- 本機の光デジタル入力端子は、とびらタイプです。とびらを奥へ倒すようにしてケーブルを差し込んでください。
- 光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

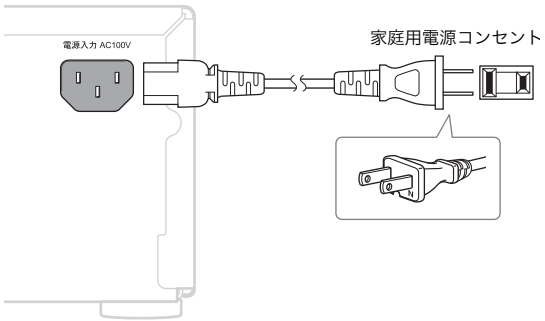
⑥ DIGITAL IN COAXIAL（デジタル音声入力）
使用するケーブル：同軸デジタルケーブル
接続機器の音楽を聴くには、DIGITAL ボタンをくり返し押して入力ソースを「COAXIAL」に切り換えてください。

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。
- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

## 5. 電源コードを接続する

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、電源コードを接続する前に、すべての接続が完了していることを確認してください。

電源コードは必ず本機の電源入力 AC100V 端子に接続した後で、家庭用電源コンセントに接続してください。また、付属の電源コードは極性管理されています。音質向上のため、電源コードの極性を合わせてください。電源プラグの N の印字がある側をコンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

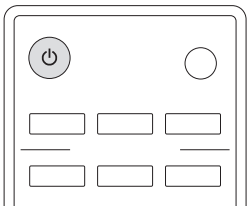



本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れて、コンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。
電源コードをコンセントから抜くときは、本機をスタンバイ状態にしてから抜いてください。また、電源コードは感電を避けるため、必ず家庭用電源コンセントの方から抜いてください。

- 本機はスタンバイのときでも微弱な待機電力が消費されます。

## 6. 電源を入れる

1. ⏻ ボタンを押します。



- 入力ソースが USB または NET の状態で電源を入れると、表示部に「Now Initializing...」と表示され、入力を認識するまでに 20 ～ 30 秒かかります。

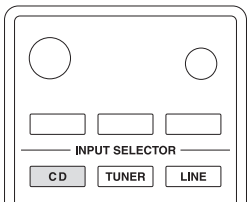
スタンバイ状態に戻すには、もう一度押します。

# CD を再生する

## 基本操作

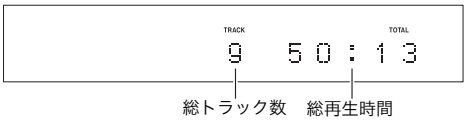
以下のディスク / ファイルを再生することができます。
ディスク：音楽 CD (CD-DA)/CD-R/CD-RW
ファイル形式：MP3/WMA

1. CD ボタンを押して、入力ソースを「CD」にします。

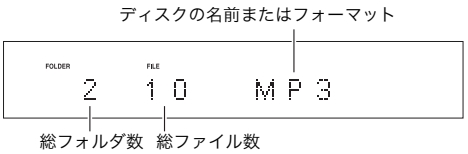



2. トレー開閉 (⏏) ボタンを押します。
3. CD をトレーに置きます。
   レーベル面を上にしてトレーの上に置きます。8 cm CD のときは、内側のくぼみの中に置きます。
4. トレー開閉 (⏏) ボタンを押して、トレーを閉めます。
   表示部に CD の情報が表示されます。
   • CD によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。

例：音楽 CD




例：MP3/WMA ディスク




5. 再生 (▶) ボタンを押します。
   1 曲目から再生が始まります。

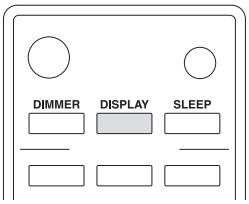
■ **停止** : 停止 (■) ボタンを押します。

■ **一時停止** : 一時停止 (❚❚) ボタンを押します。再び一時停止 (❚❚) ボタンを押すと、再生が再開されます。

■ **スキップ** : スキップ (⏮/⏭) ボタンを押すと、前または次の曲にスキップします。希望する曲になるまで、続けて押してください。
• 再生中は、⏮ を 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮ を続けて押してください。
• メモリー再生中は、メモリーの前または後ろの曲が再生されます。

■ **早戻し / 早送り** : 再生中にサーチ (◀◀/▶▶) ボタンを押し続けている間、早戻し / 早送りされます。聴きたいところで指を離してください。そこから再生されます。

■ **表示の切り換え** : 再生中にディスプレー (DISPLAY) ボタンをくり返し押すと、表示部に表示される情報が変わります。




**音楽 CD の場合** : 現在の曲の経過時間→ REMAIN( 再生中の曲の残り時間 ) → TOTAL REMAIN( 再生中のディスクの残り時間 )
• ランダム再生や総再生時間が99分59秒を超える場合、「--:--」が表示されます。

**MP3/WMA ディスクの場合** : 現在の曲の経過時間→ファイル名→フォルダ名→タイトル名 (ID3 タグのあるとき ) →アーティスト名 (ID3 タグのあるとき ) →アルバム名 (ID3 タグのあるとき ) →サンプリングレートとビットレート
• 現在再生中のファイルが 99 分 59 秒を超える場合、「--:--」が表示されます。
• 曲名やフォルダ名に、表示できない文字は「*」で表示されます。表示できない文字を含んでいるときは番号で表示するように設定することもできます。「各種の設定」の「メニュー設定」の「BAD NAME」をご覧ください。

# 曲を選択する

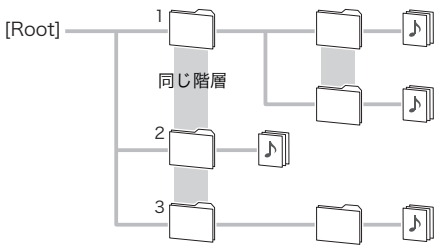
## 音楽 CD の曲を選択する（ダイレクトプレイ）

再生中または停止中に、数字ボタンを押して曲番を選ぶことができます。
曲番 7 を入力するとき : [7] を押します。
曲番 23 を入力するとき : [>10]、[2]、[3] を押します。
曲番入力後、再生が始まります。

## MP3/WMA ディスクの曲を選択する

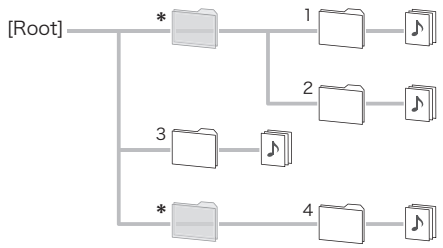
本書では、MP3/WMA 等の音楽データを「ファイル」と記載しています。またファイルが保存されている入れ物を「フォルダ」と記載しています。複数のフォルダで構成された MP3/WMA ディスクのファイルを選ぶ場合は、ナビゲーションモード、オールフォルダモードのいずれかを使って選ぶと便利です。

**ナビゲーションモード**
再生したいファイルを上位の階層から順に選ぶモードです。例えば下の図では、1 ～ 3 の順にフォルダが表示され、フォルダを選ぶと下の階層に進みます。




1. 停止中に停止 (■) ボタンを押します。
   表示部に [Root] と表示され、ナビゲーションモードになります。
2. 再生 (▶) ボタンを押します。
   [Root] の下の最初にあるフォルダ名が表示されます。フォルダが無いときは、最初のファイル名が表示されます。
3. スキップ (I◀◀ / ▶▶I) ボタンを押してフォルダを選び、エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (▶) ボタンを押します。
   • フォルダ内のフォルダを選ぶ場合は、この手順を繰り返します。
4. スキップ (I◀◀ / ▶▶I) ボタンを押してファイルを選びます。
   • 上の階層に戻るには一時停止 (❚❚) ボタンを押します。
   • モードを解除するには、停止 (■) ボタンを押します。
5. エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (▶) ボタンを押します。
   再生が始まります。

**オールフォルダモード**
音楽ファイルが入っているフォルダのみを表示して、ファイルを選ぶモードです。例えば下の図では、1 ～ 4 の順にフォルダが表示されます。




* 直下にファイルの入っていないフォルダは表示されません。

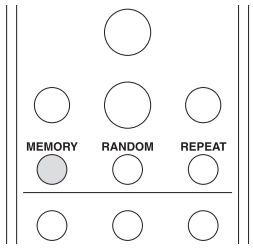
1. 停止中に一時停止 (❚❚) ボタンを押します。
   表示部のフォルダ番号が「1」と表示され、オールフォルダモードになります。

2. スキップ (I◀◀ / ▶▶I) ボタンを押してフォルダを選び、エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (▶) ボタンを押します。
3. スキップ (I◀◀ / ▶▶I) ボタンを押してファイルを選びます。
   • フォルダの選択に戻るには一時停止 (❚❚) ボタンを押します。
   • モードを解除するには、停止 (■) ボタンを押します。
4. エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (▶) ボタンを押します。
   再生が始まります。

## メモリー再生

本機は最大 25 曲を登録することができます。

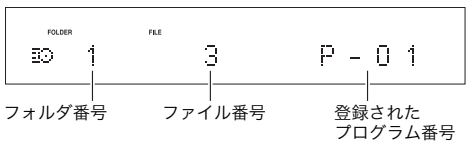
1. 停止中にメモリー (MEMORY) ボタンを押します。




表示部に が表示されます。

2. 曲を選んで登録します。
   - 音楽CDの場合、スキップ (I◀◀/▶▶I) ボタンで曲を選び、エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (▶) ボタンを押して、曲を登録します。数字ボタンで曲番を入力して登録することもできます。
   - MP3/WMA ディスクの場合、「MP3/WMA ディスクの曲を選択する」の手順で曲を登録します。
   - 登録をくり返すと、メモリーの最後に追加されていきます。

例：MP3/WMA ディスク




3. 再生 (▶) ボタンを押して再生を開始します。

■ **登録した内容を確認する** : 停止中にサーチ (◀◀/▶▶) ボタンを押すと、音楽 CD の場合は曲番号と再生時間、MP3/WMA ディスクの場合はフォルダ番号、ファイル番号とファイル名が表示されます。

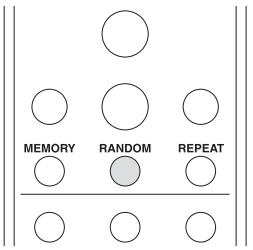
■ **登録した曲を取り消す** : 停止中にクリア(CLEAR)ボタンを押すと、最後の登録曲から取り消すことができます。

■ **メモリー再生を解除するには** : 停止中にメモリー (MEMORY) ボタンを押します。
- トレー開閉 (⏏) ボタンを押してトレーを開けた場合、または電源をスタンバイにした場合、メモリー再生は解除されます。

## ランダム再生

曲順をランダムに並べ替えて、全曲を 1 通り再生します。

1. 停止中にランダム (RANDOM) ボタンを押します。



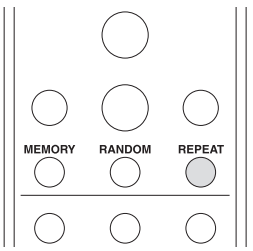

表示部に が表示されます。

2. 再生 (▶) ボタンを押して再生を開始します。

■ **ランダム再生を解除するには** : 停止中に再度ランダム (RANDOM) ボタンを押します。
- トレー開閉 (⏏) ボタンを押してトレーを開けた場合、または電源をスタンバイにした場合、ランダム再生は解除されます。

## リピート再生

1. リピート (REPEAT) ボタンをくり返し押して、リピート再生のモードを選びます。




表示部に以下のアイコンが表示されます。

: 全曲をリピートします。

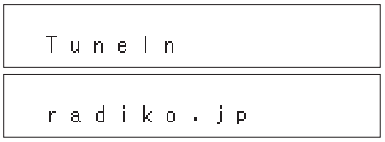
: 1 曲をリピートします。

- リピート再生はメモリー再生、ランダム再生と組み合わせることができます。

■ **リピート再生を解除するには** : リピートアイコンが消えるまで、リピート (REPEAT) ボタンをくり返し押します。
- トレー開閉 (⏏) ボタンを押してトレーを開けた場合、または電源をスタンバイにした場合、リピート再生は解除されます。

# インターネットラジオを聴く

本機には、あらかじめ特定のインターネットラジオサービスが登録されています。表示部にお好みのサービスやメニュー、ラジオ局を表示して、リモコンの簡単な操作で再生することができます。




上記サービスで扱っていない放送局でも、NET ボタンを押した次の階層に表示される「My Favorites」に登録して聴くことができます。

- 本機をインターネットに接続する必要があります。サービスプロバイダーがサービスを終了していると、そのネットワークサービスやコンテンツが利用できなくなる場合があります。サービスの詳細については、各サービスのホームページをご覧ください。

## TuneIn

TuneIn は世界中の音楽、スポーツ、ニュースなどが手軽に聴ける、ラジオ局やオンデマンド番組が登録されたサービスです。

### 再生する

1. NET ボタンを押します。
2. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押して表示部で「TuneIn」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。

3. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押して TuneIn のトップリストからフォルダやメニューを選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   - トップリストで表示されるフォルダやメニューはインターネットラジオサービス側が提供している内容で、ジャンルなどで区分けされています。
   - ひとつ前の表示に戻るにはリターン (RETURN) ボタンを押します。
4. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押してラジオ局を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   再生が始まります。

**TuneIn メニュー**
TuneIn の再生中にメニュー (MENU) ボタンを長押しすると、以下の TuneIn メニューが表示されます。それぞれの機能を働かせるには、方向 (∧/∨) ボタンを使って表示部でメニューを選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。なお、再生している放送局によって表示されるメニュー内容が異なります。

**マイプリセットに登録** : ラジオ局や番組を TuneIn の「マイプリセット」フォルダに登録します。（登録すると TuneIn のトップリストに「マイプリセット」フォルダが追加されます。）
**マイプリセットから削除** : ラジオ局や番組を「マイプリセット」フォルダから削除します。
**最近聴いたものをクリアする** : TuneIn のトップリストの「最近聴いたもの」フォルダのラジオ局や番組をすべて消去します。
**My Favorites に登録** : ラジオ局や番組を「My Favorites」に登録します。

- この他にも、ラジオ局の番組表が表示される「スケジュールをチェックする」や「問題を報告する」などのメニューがあります。

**TuneIn アカウントについて**
TuneIn のホームページ（tunein.com）でアカウントを作成し、本機からログインするとホームページ上で保存したお気に入りのラジオ局や番組が、本機の「マイプリセット」フォルダに自動的に追加されます。
**本機からログインするには** : TuneIn のトップリストから「ログイン」-「TuneIn アカウントでログイン」を選び、ユーザ名とパスワードを入力してください。また、本機で「ログイン」-「登録コードでログイン」を選ぶと表示される登録コードを使って、TuneIn ホームページのマイページからデバイスの関連付けを行うと、本機からログアウトするまで常にログインしている状態になります。

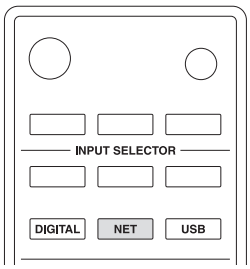
- 文字の入力のしかたについては、「各種の設定」の「文字の入力」をご覧ください。

## radiko.jp

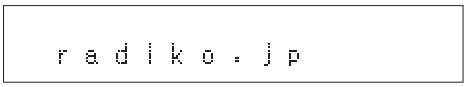
radiko.jp は、地上波のラジオ放送を、放送エリアに準じた地域に CM も含めてそのまま同時に配信するサービスです。聴取可能エリア、対応放送局などについては、radiko.jp のホームページ（http://radiko.jp）でご確認ください。
- お使いの地域に配信されているラジオ局のみを聴くことができます。

### 再生する

1. NET ボタンを押します。




2. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押して表示部で「radiko.jp」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。




お使いの地域に配信されているラジオ局が表示されます。
- radiko.jp サービス対象外の地域やサービス停止中の場合は、エラーメッセージが表示されます。

3. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押してラジオ局を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
再生が始まります。
- 再生中に方向 (</>) ボタンまたはスキップ (I◀◀/▶▶I) ボタンを押すと、ラジオ局が切り換わります。
- ひとつ前の表示に戻るにはリターン (RETURN) ボタンを押します。

**radiko.jp のメニュー**
radiko.jp の再生中にメニュー (MENU) ボタンを長押しすると、以下のメニューが表示されます。それぞれの機能を働かせるには、方向 (∧/∨) ボタンを使って表示部でメニューを選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。

**Today's Program** : 当日の番組一覧を表示します。
**Tomorrow's Program** : 明日の番組一覧を表示します。
**Program's detail** : 再生中の番組の詳細を表示します。
**Topics** : 放送された楽曲リストやおすすめ情報など、放送をより楽しむための情報を表示します。

## お好きなラジオ局を登録する (My Favorites)

NET ボタンを押した次の階層に表示される「My Favorites」にお好きなラジオ局を登録して聴くことができます。「My Favorites」には 40 局まで登録できます。
- 本機は、PLS 形式、M3U 形式、および Podcast(RSS) 形式のインターネットラジオ局に対応しています。これらの形式のインターネットラジオ局であっても、データの種類や再生フォーマットによって、再生できないこともあります。

### My Favorites に登録する

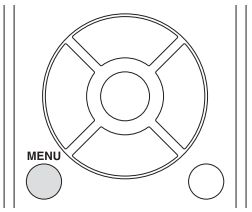
お好きなラジオ局を「My Favorites」に登録するには、PC を使用して登録する方法と、本機を操作して登録する方法の 2 通りがあります。

### PC を使用して登録する

登録操作には、追加するラジオ局の名前と URL が必要になります。事前にご確認ください。また、PC は本機と同じネットワークに接続する必要があります。

PC のインターネットブラウザに本機の IP アドレスを入力し、WEB Setup にアクセスして登録を行います。

1. メニュー (MENU) ボタンを押します。




2. 方向 (∧/∨) ボタンを押して表示部で「NET Setting」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
3. 「IP Address」が表示されるので、エンター (ENTER) ボタンを押します。
IP アドレスをメモに控えてください。
4. PC の電源を入れ、Internet Explorer などのインターネットブラウザを開きます。
5. インターネットブラウザの URL 欄に本機の IP アドレスを入力します。本機に表示される IP アドレスが「１９２１６８ｘｘｘｙｙｙ」の場合は、URL 欄に「192.168.xxx.yyy」と入力します。
「１９２１６８　ｘｘｙｙｙ」の場合は、URL 欄に「192.168.xx.yyy」と入力します。
「１９２１６８　　ｘｙｙｙ」の場合は、URL 欄に「192.168.x.yyy」と入力します。

インターネットブラウザに本機の情報 (WEB Setup 画面 ) が表示されます。

6.「My Favorites」タブをクリックして、インターネットラジオ局の名前と URL を入力します。
7.「Save」をクリックしてインターネットラジオ局を登録します。

## 本機を操作して登録する

登録操作には、追加するラジオ局の名前と URL が必要になります。事前にご確認ください。

本機の「My Favorites」で直接ラジオ局の情報を入力して、登録します。

1. NET ボタンを押します。
2. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押して表示部で「My Favorites」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
3. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押して、ラジオ局が登録されていない番号を選び、メニュー (MENU) ボタンを長押しします。
4. 方向 (∧/∨) ボタンを押して「新しいステーションを追加」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   表示部に「URL」と表示されます。
5. エンター (ENTER) ボタンを押します。
6. ラジオ局の名前を入力します。
   • 文字の入力のしかたについては、「各種の設定」の「文字の入力」をご覧ください。
7. ラジオ局の URL を入力します。

## 登録したラジオ局を聴く

1. NET ボタンを押します。
2. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押して表示部で「My Favorites」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。

3. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押してラジオ局を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   再生が始まります。

**登録したラジオ局を削除するには :**
1.「My Favorites」でラジオ局を選び、メニュー (MENU) ボタンを長押しします。
2. 方向 (∧/∨) ボタンを押して「My Favorites から削除」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   確認用のメッセージが表示されます。
3. エンター (ENTER) ボタンを押します。

**登録したラジオ局の名前や URL を変更するには :**
1.「My Favorites」でラジオ局を選び、メニュー (MENU) ボタンを長押しします。
2. 方向 (∧/∨) ボタンを押して「ステーション情報を変更」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
3. ラジオ局の名前を入力します。
   • 文字の入力のしかたについては、「各種の設定」の「文字の入力」をご覧ください。
4. ラジオ局の URL を入力します。

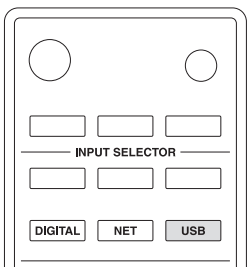
# USB ストレージの曲を再生する

## 基本操作

前面または後面パネルの USB 端子に USB ストレージを接続して、音楽ファイルを再生します。

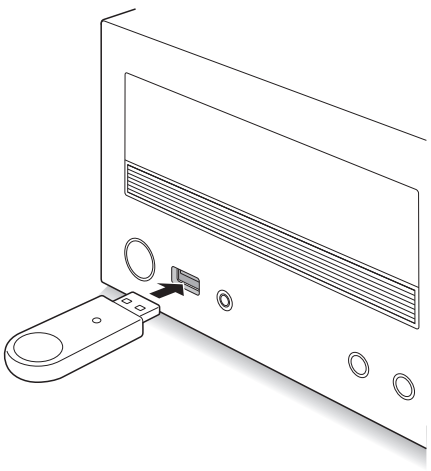
- 対応している USB ストレージまたはファイル形式については、「対応機器 / メディアとファイル形式」をご覧ください。
- 前面パネルの USB 端子は、お買い上げ時に給電機能が働く設定になっています。給電機能の詳細や設定については、「各種の設定」の「メニュー設定」の「SleepCharge」をご覧ください。

1. USB ボタンをくり返し押して、表示部で「USB(F)」または「USB(R)」を選びます。




   - 前面パネルの USB 端子を使う場合は「USB(F)」、後面パネルの USB 端子を使う場合は「USB(R)」を選んでください。

2. 選択した方の USB 端子に USB ストレージを接続します。



   USB ストレージが認識されると、USB ストレージのボリュームラベルが表示されます。
   - USB ストレージによっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
   - USB ストレージ内に音楽ファイルが無い場合、表示部に「No Item」と表示されます。
   - 「No storage」と表示される場合は、USB ストレージを接続し直してください。

3. エンター (ENTER) ボタンを押します。
   曲名、またはフォルダ名が表示されます。
4. 方向 (∧/∨) ボタンで曲またはフォルダを選び、再生 (▶) ボタンを押します。
   再生が始まります。
   - ひとつ前の表示に戻るにはリターン (RETURN) ボタンを押します。
   - フォルダを選択した場合、フォルダ内の先頭の曲が再生されます。
   - フォルダを選択してエンター (ENTER) ボタンを押すとフォルダ内の曲を選択できます。
   - フォルダ内の同一階層の音楽ファイルのみを再生します。リピート再生のモードを全曲リピートにすると、USB ストレージ内の全曲を再生することもできます。

■ **停止** : 停止 (■) ボタンを押します。

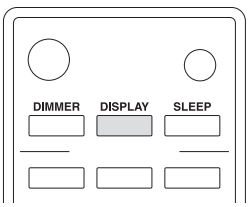
■ **一時停止** : 一時停止 (❚❚) ボタンを押します。再び一時停止 (❚❚) ボタンを押すと、再生が再開されます。

■ **スキップ** : スキップ (⏮/⏭) ボタンを押すと、前または次の曲にスキップします。希望する曲になるまで、続けて押してください。

- 再生中は、⏮ を 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮ を続けて押してください。

■ **早戻し / 早送り** : 再生中にサーチ (◀◀/▶▶) ボタンを押し続けている間、早戻し / 早送りされます。聴きたいところで指を離してください。そこから再生されます。

■ **表示の切り換え** : 再生中にディスプレー (DISPLAY) ボタンをくり返し押すと、表示部に表示される情報が変わります。

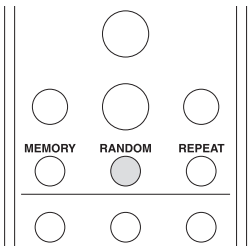



タイトル名 (ID3 タグのあるとき ) →アーティスト名 (ID3 タグのあるとき ) →アルバム名 (ID3 タグのあるとき ) →現在の曲の経過時間→現在の曲の再生時間→ファイル形式、サンプリングレートとビットレート

## ランダム再生

フォルダ内の音楽ファイルをくり返しランダム再生します。

1. ランダム (RANDOM) ボタンを押します。



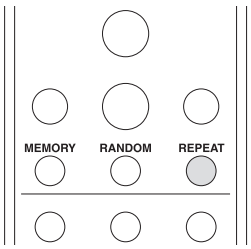

表示部に が表示されます。

■ **ランダム再生を解除するには** : 再度ランダム (RANDOM) ボタンを押します。

- 「Net Standby」が「Disable」に設定された状態で電源をスタンバイにした場合、USB ストレージを抜いた場合、またはリピート再生にしたとき、ランダム再生は解除されます。

## リピート再生

1. リピート (REPEAT) ボタンをくり返し押して、リピート再生のモードを選びます。




表示部に以下のアイコンが表示されます。

: USB ストレージ内の全曲をリピートします。

: 1 曲をリピートします。

: フォルダ内の曲をリピートします。

■ **リピート再生を解除するには** : リピートアイコンが消えるまで、リピート (REPEAT) ボタンをくり返し押します。

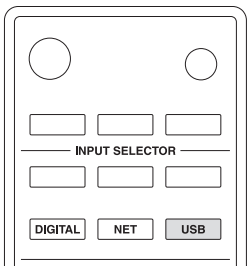
- ランダム再生にしたとき、リピート再生はいったん解除されます。ランダム再生を解除すると、設定したリピート再生モードに戻ります。

# iPod/iPhone を再生する

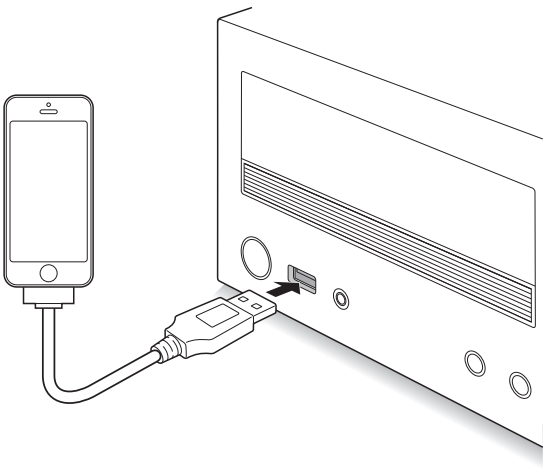
前面パネルの USB 端子に iPod/iPhone を接続して、音楽ファイルを再生します。

- 対応している iPod/iPhone については、「対応機器 / メディアとファイル形式」をご覧ください。
- 前面パネルの USB 端子は、お買い上げ時に充電機能が働く設定になっています。充電機能の詳細や設定については、「各種の設定」の「メニュー設定」の「SleepCharge」をご覧ください。

1. USB ボタンをくり返し押して、表示部で「USB(F)」を選びます。




2. iPod/iPhone 付属の USB ケーブルで前面パネルの USB 端子に接続します。



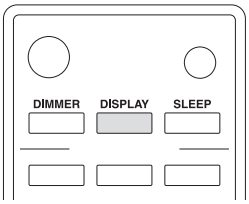
   - 「No storage」と表示される場合は、iPod/iPhone を接続し直してください。

3. 停止 (■) ボタンを長押しして、再生モードを選びます。
   **Extended Mode** : 表示部にコンテンツ情報が表示されます。本機のリモコンで操作します。
   **Standard Mode** : iPod/iPhone の画面を見ながら、iPod/iPhone および本機のリモコンで操作します。
   - リモコンでの操作については、「USB ストレージの曲を再生する」をご覧ください。
   - iPod/iPhone の機種・世代によっては、特定のリモコンボタンが意図したとおりに機能しない場合があります。

■ **Extended Mode のメニュー** : Extended Mode を選ぶと表示部に以下のメニューが表示されます。
方向 (∧/∨) ボタンを押してメニューを選び、エンター (ENTER) ボタンを押してください。

プレイリスト (Playlists) →アーティスト (Artists) →アルバム (Albums) →ジャンル (Genres) →曲 (Songs) →作曲者 (Composers) →シャッフル (Shuffle Songs) →再生中 (Now Playing)

■ **表示の切り換え** : Extended Mode で再生中にディスプレー (DISPLAY) ボタンをくり返し押すと、表示部に表示される情報が変わります。




タイトル名→アーティスト名→アルバム名→現在の曲の経過時間→現在の曲の再生時間→ファイル形式、サンプリングレートとビットレート

■ **ランダム再生について** : ランダム (RANDOM) ボタンをくり返し押して、ランダム再生のモードを選びます。
Extended Mode の場合は、表示部に以下のアイコンが表示されます。

: 選んでいるフォルダの全曲をランダム再生します。

: 選んでいるフォルダの中にアルバムが複数ある場合、アルバムをランダムに選んで再生します。

- ランダム再生を解除するには、ランダムアイコンが消えるまでランダム (RANDOM) ボタンをくり返し押します。

■ **リピート再生について** : リピート (REPEAT) ボタンをくり返し押して、リピート再生のモードを選びます。
Extended Mode の場合は、表示部に以下のアイコンが表示されます。

: 全曲をリピートします。

: 1 曲をリピートします。

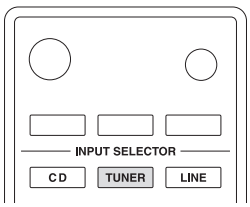
- リピート再生はランダム再生と組み合わせることができます。
- リピート再生を解除するには、リピートアイコンが消えるまでリピート (REPEAT) ボタンをくり返し押します。

# AM/FM ラジオを聴く

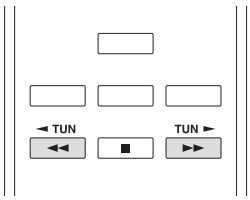
## 放送局を選局する

### 自動で選局する

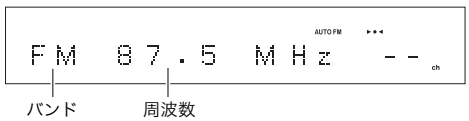
1. TUNER ボタンをくり返し押して、表示部で「AM」または「FM」を選びます。




2. エンター (ENTER) ボタンをくり返し押して、表示部の「AUTO」を点灯させます。
3. チューニング (◄ TUN/TUN ►) ボタンを押して、自動選局を始めます。




- 放送局が見つかると選局が自動的に停止し、表示部の ▸●◂ が点灯します。




**FM 放送を受信しにくいときは**：電波の弱い所や雑音の多い所では、次項の「手動で選局する」を参照してモノラル受信にしてください。雑音や音切れを軽減できます。

### 手動で選局する

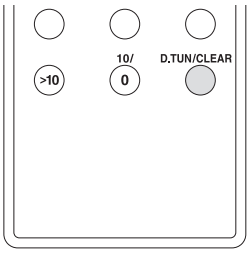
手動で選局すると、FM 放送の場合はモノラル受信になります。

1. TUNER ボタンをくり返し押して、表示部で「AM」または「FM」を選びます。
2. エンター (ENTER) ボタンをくり返し押して、表示部の「AUTO」を消灯させます。
3. チューニング (◄ TUN/TUN ►) ボタンを押して、聴きたい放送局を選びます。
   - ボタンを押すごとに周波数が1ステップずつ変わります。本機では FM は 0.1 MHz、AM は 9 kHz ずつ変わります。ボタンを押し続けると、連続して周波数が変わり、離すと止まります。表示部を見ながら周波数を合わせてください。

### 周波数を直接入力する

お聴きになりたい放送局の周波数を直接入力する操作方法です。

1. TUNER ボタンをくり返し押して、表示部で「AM」または「FM」を選びます。
2. 周波数直接入力 (D.TUN) ボタンを押します。




3. 数字ボタンで、8 秒以内に放送局の周波数を入力します。
   - 87.5（FM）を入力する場合、「8」、「7」、「5」と押します。間違った番号を入力した場合は、8 秒後に再度周波数直接入力 (D.TUN) ボタンを押して、入力し直してください。

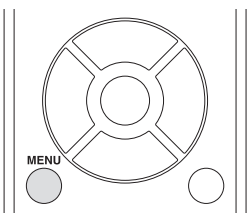
## 放送局を登録する

お好きな AM/FM 放送局を最大 40 局まで登録できます。放送局をあらかじめ登録しておけば、周波数で合わせなくても、すばやく選局できます。

### 自動で登録する

FM 放送局のみ自動で登録することができます。
- 自動登録機能を使うと、以前に登録されていた放送局はすべて削除され、新たに登録が行われます。

1. TUNER ボタンをくり返し押して、表示部で「FM」を選びます。
2. メニュー (MENU) ボタンを押して、方向 (∧/∨) ボタンで「Tuner Setting」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。



- ひとつ前の表示に戻るにはリターン (RETURN) ボタンを押します。

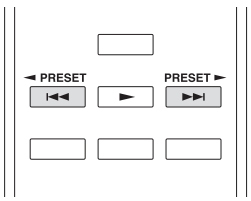
3. 方向 (∧/∨) ボタンで「AutoPreset」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   確認用のメッセージが表示されます。
   - 中断する場合はメニュー (MENU) ボタンを押します。
4. エンター (ENTER) ボタンを押します。
   自動登録が開始され、周波数順に最大 40 局まで登録されます。

## 手動で登録する

1. 登録したい AM/FM 放送局を受信します。
2. メニュー (MENU) ボタンを押して、方向 (∧/∨) ボタンで表示部で「Tuner Setting」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   - ひとつ前の表示に戻るにはリターン (RETURN) ボタンを押します。
3. 方向 (∧/∨) ボタンで「Preset Write」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   表示部のプリセット番号が点滅します。
   - 中断する場合はメニュー (MENU) ボタンを押します。
4. 方向 (</>) ボタンでプリセット番号を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   登録が完了すると、表示部に「Complete」と表示されます。
   - 選んだプリセット番号が登録済みの場合は、表示部に「OverWrite ?」と表示されます。上書きして登録する場合はエンター (ENTER) ボタンを押します。上書きしない場合はメニュー (MENU) ボタンを押します。

## 登録した放送局を聴く

1. TUNER ボタンをくり返し押して、表示部で「AM」または「FM」を選びます。
2. プリセット (◄ PRESET/PRESET ►) ボタンを押して、プリセット番号を選びます。




- 数字ボタンで直接プリセット番号を入力して選ぶこともできます。

**登録した放送局に名前を付ける：**

1. プリセット番号を表示した状態でメニュー (MENU) ボタンを押して、方向 (∧/∨) ボタンで「Tuner Setting」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
2. 方向 (∧/∨) ボタンで「Name Edit」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
3. 名前を入力します。
   - 文字の入力のしかたについては、「各種の設定」の「文字の入力」をご覧ください。

**登録した放送局をコピーする**：登録した放送局を別のプリセット番号にコピーして、お好きな順番に並べ替えることができます。

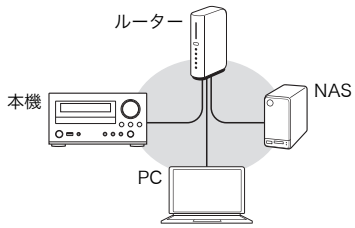
1. プリセット番号を表示した状態でメニュー (MENU) ボタンを押して、方向 (∧/∨) ボタンで「Tuner Setting」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
2. 方向 (∧/∨) ボタンで「Preset Copy」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   表示部のプリセット番号が点滅します。
3. 方向 (</>) ボタンでコピー先のプリセット番号を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   コピーが完了すると、表示部に「Complete」と表示されます。
   - 選んだプリセット番号が登録済みの場合は、表示部に「OverWrite ?」と表示されます。上書きして登録する場合はエンター (ENTER) ボタンを押します。上書きしない場合はメニュー (MENU) ボタンを押します。
   - コピー先のプリセット番号に登録されている放送局を残しておきたい場合は、先に別のプリセット番号にコピーしてください。

**登録した放送局を削除する：**

1. プリセット番号を表示した状態でメニュー (MENU) ボタンを押して、方向 (∧/∨) ボタンで「Tuner Setting」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
2. 方向 (∧/∨) ボタンで「Preset Erase」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   確認用のメッセージが表示されます。
   - 中断する場合はメニュー (MENU) ボタンを押します。
3. エンター (ENTER) ボタンを押します。
   削除が完了すると、表示部に「Complete」と表示されます。

## DLNA 対応機器の音楽を再生する

DLNA（Digital Living Network Alliance）とは、ホームネットワークを使って、AV 機器や PC などを相互に連携して利用するための技術仕様を策定する業界団体、またその仕様自体を指します。本機では、DLNA で PC や NAS（ネットワークに接続されたハードディスク）に保存された音楽ファイルをストリーミング再生して楽しむことができます。




- 本機と PC または NAS は同じルーターに接続する必要があります。
- DLNA サーバー機能を持った NAS、または Windows Media Player11 や 12 などの DLNA サーバー機能を備えたプレーヤーがインストールされた PC で再生できます。Windows Media Player 11 または 12 は、ストリーミング再生をするための事前の設定が必要です。

### Windows Media Player の設定をする

#### Windows Media Player 11 の場合

1. PC の電源を入れ、Windows Media Player 11 を開きます。
2. 「ライブラリ」メニューから「メディアの共有」を選んで、ダイアログを開きます。
3. 「メディアを共有する」のチェックボックスにチェックを入れ、「OK」をクリックして、対応機器を表示させます。
4. 本機を選び、「許可」をクリックします。
   - クリックすると、本機のアイコンにチェックが付きます。
5. 「OK」をクリックして、ダイアログを閉じます。

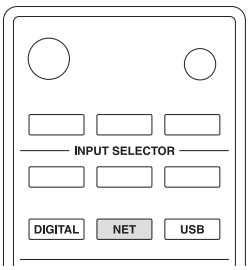
#### Windows Media Player 12 の場合

1. PC の電源を入れ、Windows Media Player 12 を開きます。
2. 「ストリーム」メニューから「メディアストリーミングを有効にする」を選んで、ダイアログを開きます。
   - メディアストリームがすでに有効になっている場合は、「ストリーム」メニューから「その他のストリーミングオプション」を選ぶと、ネットワーク内の再生機器一覧が表示されますので、手順 4 に進んでください。
3. 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックして、ネットワーク内の再生機器一覧を表示させます。
4. 「メディアストリーミングオプション」で本機を選び、「許可」になっていることを確認します。
5. 「OK」をクリックして、ダイアログを閉じます。
6. リモート再生する場合、「ストリーム」メニューを開き、「プレーヤーのリモート制御を許可」にチェックが入っていることを確認します。

### 本機を操作して再生する

本機を操作して、サーバーの音楽ファイルを再生します。

1. サーバーを起動します。
2. NET ボタンを押します。




3. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押して表示部で「DLNA」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。

4. 方向 (∧/∨) ボタンを押してサーバーを選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   サーバーの項目が表示されます。
   - お使いの PC のサーバー名は、PC のプロパティから確認できます。
   - ひとつ前の表示に戻るにはリターン (RETURN) ボタンを押します。
   - サーバーの機能や共有設定によっては、内容を表示できない場合があります。サーバーの取扱説明書をご覧ください。
   - 本機はサーバーにある写真や動画にアクセスすることはできません。
5. 方向 (∧/∨) ボタンを押して再生したい音楽ファイルを選び、エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (▶) ボタンを押します。
   - サーバーによっては、早送り / 早戻し / 一時停止の操作が機能しない場合があります。
   - サーバーから情報が取得できないと「No Item」というメッセージが表示されます。この場合は、サーバーおよびネットワークの接続を確認してください。
   - Windows Media Player のライブラリに音楽ファイルを追加した直後は、新しい音楽ファイルが本機の音楽ファイル一覧に表示されないことがあり

ます。これは、Windows ライブラリのインデックスが更新されていないためです。インデックスが自動で更新されるのを待つか、手動でインデックスを再構築してください。操作手順は Windows のオンラインヘルプをご覧ください。

**基本操作について**
停止 (■)、一時停止 (❚❚)、スキップ (|◀◀/▶▶|)、サーチ (◀◀/▶▶) ボタンで、停止や選曲などの操作をすることもできます。
**リピート / ランダム再生について**
リピート (REPEAT)、ランダム (RANDOM) ボタンで操作できます。
**表示部の情報について**
再生中にディスプレー (DISPLAY) ボタンをくり返し押すと、タイトル名、アーティスト名などの情報を切り換えて表示することができます。

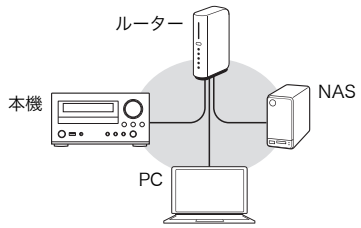
## リモート再生する

DLNA 準拠のコントローラー機器や PC を操作して、サーバーの音楽ファイルを本機で再生します。
ここでは、Windows Media Player 12 を使ってリモート再生をする手順を説明します。

1. 本機の電源を入れます。
2. PC の電源を入れ、Windows Media Player 12 を開きます。
3. Windows Media Player 12 で再生したい音楽ファイルを選び、右クリックします。
   右クリックメニューが表示されます。
   - 別のサーバー内の音楽ファイルをリモート再生するには、「その他のライブラリ」からサーバーを開き、再生したい音楽ファイルを選びます。
4. 「リモート再生」から本機を選びます。
   Windows Media Player 12 の「リモート再生」ウィンドウが開き、本機で再生が開始されます。
   リモート再生中の操作は、「リモート再生」ウィンドウで行います。
   - 本機でネットワークを使って別の操作をしている場合、または本機で USB 機器または iPod/iPhone の音楽ファイルを再生している場合は、リモート再生できません。
5. 「リモート再生」ウィンドウの音量バーで、音量を調節します。
   - 標準の最大音量は 38 です。この設定は WEB Setup で変更することができます。WEB Setup へのアクセスのしかたについては、「インターネットラジオを聴く」の「お好きなラジオ局を登録する (My Favorites)」をご覧ください。
   - 「リモート再生」ウィンドウと本機の音量値は一致しない場合があります。
   - 本機で変更した音量は、「リモート再生」ウィンドウには反映されません。

# 共有フォルダの音楽を再生する (Home Media)

共有フォルダとは、PC や NAS（ネットワークに接続されたハードディスク）などのネットワーク機器内に他のユーザーからでも参照できるように設定されたフォルダです。本機では、同じネットワークに接続された PC や NAS の共有フォルダ内の音楽ファイルを再生することができます。




- 本機と PC または NAS は同じルーターに接続する必要があります。
- 共有フォルダの曲を再生するには、事前に PC や NAS の設定が必要です。設定のしかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。ここでは、Windows® 7 および Windows® 8 での設定方法を説明します。

## Windows の設定をする

### 共有オプションの設定をする

1. PC の電源を入れます。
2. 「コントロールパネル」の「ホームグループと共有に関するオプションの選択」を選びます。
   - メニューが表示されない場合、「表示方法」が「カテゴリ」になっているか確認してください。
3. 「共有の詳細設定の変更」を選びます。
4. 「ホームまたは社内」(Windows 7) または「プライベート」「すべてのネットワーク」(Windows 8) で、以下のラジオボタンを選んでいるか確認します。
   「ネットワーク探索を有効にする」
   「ファイルとプリンターの共有を有効にする」
   「共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はパブリックフォルダー内のファイルを読み書きできるようにする」
   「パスワード保護の共有を無効にする」
5. 「変更の保存」を選び、確認画面で「OK」をクリックします。

### 共有フォルダを作成する

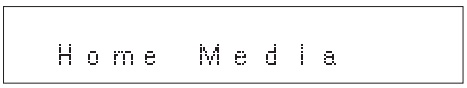
1. 共有するフォルダを選び、右クリックします。
2. 「プロパティ」を選びます。
3. 「共有」タブから「詳細な共有」を選びます。
4. 「このフォルダーを共有する」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。
5. 「ネットワークのファイルとフォルダーの共有」から「共有」をクリックします。
6. プルダウンメニューから「Everyone」を選び、「追加」をクリックしてから「共有」をクリックします。

- 共有フォルダにユーザーとパスワードを設定するには、「共有」タブの「詳細な共有」で「アクセス許可」を設定してください。
- ワークグループが設定されているか確認してください。

## 再生する

本機を操作して、各機器の共有フォルダの音楽ファイルを再生します。

1. NET ボタンを押します。
2. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを押して表示部で「Home Media」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。



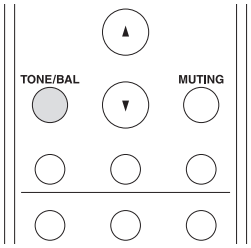

3. 方向 (∧/∨) ボタンを押して、サーバーを選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   - お使いの PC のサーバー名は、PC のプロパティから確認できます。
   - ひとつ前の表示に戻るにはリターン (RETURN) ボタンを押します。
4. 方向 (∧/∨) ボタンを押して、共有フォルダを選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
5. ユーザー名とパスワードを要求されたら、必要なアカウント情報を入力します。
   - 文字の入力のしかたについては、「各種の設定」の「文字の入力」をご覧ください。
   - 一度入力されたアカウント情報は保存され、次回からの入力が不要になります。
   - アカウント情報については、共有フォルダの作成時に設定したアカウント情報を使用してください。
6. 方向 (∧/∨) ボタンを押して再生したい音楽ファイルを選び、エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (▶) ボタンを押します。
   再生が始まります。

**基本操作について**
停止 (■)、一時停止 (❚❚)、スキップ (|◀◀/▶▶|)、サーチ (◀◀/▶▶) ボタンで、停止や選曲などの操作をすることもできます。
**リピート / ランダム再生について**
リピート (REPEAT)、ランダム (RANDOM) ボタンで操作できます。
**表示部の情報について**
再生中にディスプレー (DISPLAY) ボタンをくり返し押すと、タイトル名、アーティスト名などの情報を切り換えて表示することができます。

# 各種の設定

## 音質の設定

1. トーン / バランス (TONE/BAL) ボタンをくり返し押して、変更したい設定項目を選びます。




2. 方向 (</>) ボタンを押して設定します。

**■ Bass**
低音域を調整します。
**－ 3 ～＋ 3**（お買い上げ時の設定：0）

**■ Treble**
高音域を調整します。
**－ 3 ～＋ 3**（お買い上げ時の設定：0）

**■ Balance**
左右のスピーカーから出力される音のバランスを調整します。
**L7 ～ R7**（お買い上げ時の設定：0）

**■ PM.Bass (Phase Matching Bass)**
中音域の位相ずれを抑え、滑らかでパワフルな低域を増強します。
**On** ( お買い上げ時の設定 )
**Off**
- 「On」にすると、表示部の「BASS」が点灯します。
- 「On」にすると、「Direct」は無効になります。

**■ Direct**
ダイレクト機能を働かせると、音質調整は働かなくなり、ピュアな音で聴くことができます。
**On**
**Off** ( お買い上げ時の設定 )
- 「On」にすると、表示部の「DIRECT」が点灯します。
- 「On」にすると、「Bass」、「Treble」、「PM.Bass」は無効になります。

## 文字の入力

「NET Setting」や「My Favorites」メニューなど、文字を入力するときは以下の方法で文字を入力します。

1. 方向 (∧/∨/</>) ボタンを使って文字・記号を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
この操作をくり返して、文字を入力します。

入力できる文字は以下の通りです。

a

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | b | c | d | e | f | g | h | i | j | k | l | m |
| n | o | p | q | r | s | t | u | v | w | x | y | z |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | - | = | ` |
| { | } | \| | : | " | < | > | ? | S | p | a | c | e |
| S | h | i | f | t | <- | -> | B | S | O | K | | |

b

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M |
| N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z |
| ! | @ | # | $ | % | ^ | & | * | ( | ) | _ | + | ～ |
| [ | ] | \ | ; | ' | , | . | / | S | p | a | c | e |
| S | h | i | f | t | <- | -> | B | S | O | K | | |

- **Shift ( シフト )***: 表示する文字が切り換わります。(a → b)
- **Space (スペース)**: 1 文字分空白のスペースを入力します。
- **← ( 左 )** / **→ ( 右 )**: 名前入力エリア内でカーソルを移動するときに選びます。
- **BS ( バック スペース )****: カーソル位置から、左側の文字を削除します。カーソル位置は左に動きます。

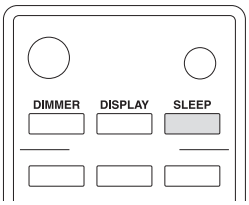
* 「>10」ボタンを押すことでも切り換わります。
** クリア (CLEAR) ボタンを押すと、入力したすべての文字を削除できます。

2. 入力が終わったら、方向 (∧/∨/</>) ボタンを使って「OK」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。

## スリープタイマー

指定した時間が経過すると、自動的にスタンバイ状態へ移行します。

1. スリープ (SLEEP) ボタンをくり返し押して、時間を選びます。




- 90 分から 10 分まで設定できます。
スリープ (SLEEP) ボタンを押すごとに、10 分単位で設定時間が短くなります。

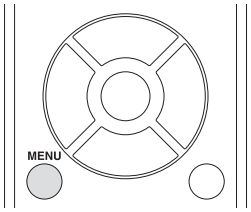
希望の時間を表示して 5 秒経つと、設定が完了します。
- スリープタイマー設定中は、表示部の「SLEEP」が点灯します。

**■ 残り時間を確認する**: スリープ (SLEEP) ボタンを押すと、スタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。
**■ スリープタイマーを解除する**: 表示部の「SLEEP」が消えるまで、スリープ (SLEEP) ボタンをくり返し押します。

## メニュー設定

以下のメニューを表示させ、設定値を変更します。
ASb、SleepCharge、Tuner Setting、Sel Change、M.OPT、MP3 Setting、NET Setting、Update
- 表示される設定項目は選んでいる入力ソースによって異なります。

1. メニュー (MENU) ボタンを押します。




2. 方向 (∧/∨) ボタンで変更したい設定項目を選んで、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   - ひとつ前の表示に戻るにはリターン (RETURN) ボタンを押します。
   - サブメニューが表示される場合は、さらに方向 (∧/∨) ボタンでサブメニューを選んでエンター (ENTER) ボタンを押してください。
   - 中断するにはメニュー (MENU) ボタンを押します。
3. 方向 (</>) ボタンを押して設定値を変更し、エンター (ENTER) ボタンを押します。
4. 設定が終了したら、リターン (RETURN) ボタンを押してメニューを抜けます。

### ■ ASb (Auto Standby)

音声入力がない状態で本機を 20 分操作しないと、自動的にスタンバイに移行します。

**On**
**Off** ( お買い上げ時の設定)
- 「On」にすると、表示部の「ASb」が点灯します。

### ■ SleepCharge

本機のスタンバイ状態時に接続した USB 機器への電源供給設定を指定できます。前面パネルの USB 端子のみ充電または給電機能が使用できます。

**On** ( お買い上げ時の設定 ) : USB 機器を接続すると、充電または給電を開始します。
**Off** : USB 機器が充電されません。
- 以下の iPod/iPhone は、充電機能に対応していません。
  iPod touch ( 第 1、第 2、第 3 世代 )、iPod nano ( 第 2、第 7 世代 )、iPhone 3GS、iPhone 3G
- 本機がスタンバイ状態のときに USB 機器を接続すると、表示部に「ReadyCharging」と表示され、充電または給電を開始すると、「Charging」に表示が変わります。
- 「ReadyCharging」が表示されている間に USB 機器を抜いても、スタンバイには移行しません。スタンバイ状態にするには、⏻ ボタンを押して電源をオンにし、再度 ⏻ ボタンを押してください。
- iPod/iPhone の充電電池が完全に消耗している場合、充電機能が働かないことがあります。その場合は、一度本機の電源を入れ直してください。
- 「SleepCharge」を「On」に設定している場合、スタンバイ状態での消費電力が増加します。

### ■ Tuner Setting

AM/FM ラジオに関する設定を行います。
この設定を行うには入力ソースを「AM」または「FM」に切り換えてください。
各設定については、「AM/FM ラジオを聴く」をご覧ください。

### ■ Sel Change (Selector Change)

オンキヨー製 RI 端子付きドックを本機に接続した場合、連動動作を正しく行うために、入力表示を「DOCK」に切り換える必要があります。
設定を行う前に、「LINE1」「LINE2」「OPTICAL」「COAXIAL」から変更する入力ソースを選択します。
- 4 つの入力ソースのうち、一度に一つのみ「DOCK」に変更できます。
  **Line1**、**Line2**、**Optical**、**Coaxial**
  ↕
  **Dock**

### ■ M.OPT (Music Optimizer)

MP3 などの非可逆圧縮ファイルでは、音源の圧縮により、もとの音源よりも音質が低下しています。MUSIC OPT を使用することにより、圧縮された音源の最適化を行います。この機能は、サンプリング周波数が 48 kHz 以下の音楽信号に働きます。
この設定を行うには入力ソースを「CD」、「USB(F)」、「USB(R)」、「OPTICAL」、「COAXIAL」または NET ボタンを押して選べる入力ソースのいずれかに切り換えてください。

**Off** ( お買い上げ時の設定 )
**On**
- 「On」にすると、表示部の「M.OPT」が点灯します。

### ■ MP3 Setting

MP3/WMA ファイル情報の表示方法を選択したり、MP3/WMA ディスクの再生方法などを設定することができます。
この設定を行うには入力ソースを「CD」に切り換えてください。

**BAD NAME** : MP3/WMA ファイル情報の表示方法を選択します。
- ID3 タグ情報については、設定に関係なく表示できない文字を「*」で表示します。
  **Replace** : 曲名やフォルダ名に、表示できない文字が含まれている場合、「File_n」や「Folder_n」(n は曲番 / フォルダ番号 ) に置き換えて表示させます。
  **Not** ( お買い上げ時の設定 ) : 表示できる文字は表示し、できない文字は「*」で表示します。

**ID3 VER.1** : ID3 Version1.0/1.1 のタグ情報の表示を設定します。
**Read** ( お買い上げ時の設定) : タグ情報を読み込んで表示します。
**Not Read** : タグ情報を表示しません。

**ID3 VER.2** : ID3 Version 2.2/2.3/2.4 のタグ情報の表示を設定します。
**Read** ( お買い上げ時の設定) : タグ情報を読み込んで表示します。
**Not Read** : タグ情報を表示しません。

**CD EXTRA** : CD-Extra ディスクの再生について、音楽 CD または MP3/WMA ファイルのどちらを再生するか設定します。
**Audio** ( お買い上げ時の設定) : 音楽 CD を再生します。
**MP3** : MP3/WMA ファイルを再生します。

**JOLIET** : JOLIET 形式で記録された MP3/WMA の読み込みかたを設定します。通常は設定を変える必要はありません。
- SVD（Supplementary Volume Descriptor）は、アルファベットと数字以外の文字や、長いファイル名 / フォルダ名をサポートしています。

**Use SVD** ( お買い上げ時の設定) : SVD データを読み込みます。
**ISO9660** : ISO9660 形式として読み込みます。

**HIDE NUMBER** : 曲名やフォルダ名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。
**Disable** ( お買い上げ時の設定 ) : 番号を表示します。
**Enable** : 番号を隠します。
- MP3/WMA ディスクを PC で作成した場合､通常ファイルの再生順序は決められません。ただし、MP3/WMA ファイルの先頭に 01、02、03 のように番号を付けると順番に再生されます。

**STOP KEY** : 本体の停止 (■) ボタンを押したときの設定を行います。
**All Folder** : 停止 (■) ボタンを押すとオールフォルダモードになります。
**Navigation** ( お買い上げ時の設定 ) : 停止 (■) ボタンを押すとナビゲーションモードになります。
**Disable** : 停止 (■) ボタンを押しても、オールフォルダモード、ナビゲーションモードになりません。

## ■ NET Setting

接続するネットワーク環境に合わせて以下のネットワーク設定を行ってください。
- DHCP の設定が Enable ( お買い上げ時の設定）の場合、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway」、「DNS Server」の設定は表示のみとなり、変更できません。DHCP の設定が Disable の場合、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway」、「DNS Server」を設定する必要があります。
- 「NET Setting」のサブメニュー表示後、リターン (RETURN) ボタンを押すと「Network Save? 」が表示されます。設定を変更するときは、エンター (ENTER) ボタンを押して保存してください。リターン (RETURN) ボタンを押してメニューを終了すると、変更した設定は反映されません。

**IP Address** : IP アドレスを表示 / 設定します。

**MAC Address** : 本機の MAC アドレスを表示します。

**DHCP :**
**Enable** ( お買い上げ時の設定)
**Disable**

**Subnet Mask** : サブネットマスクを表示 / 設定します。

**Gateway** : デフォルトゲートウェイを表示 / 設定します。

**DNS Server** : DNS サーバーアドレスを表示 / 設定します。

**Proxy URL** : Proxy サーバーアドレスを設定します。

**Proxy Port** : Proxy ポート番号を設定します。
- Proxy URL を設定した時のみ表示されます。

**Net Standby** : スタンバイ状態のときに、ネットワークを通じて本機をコントロールできるかどうかを設定します。
**Disable** ( お買い上げ時の設定)
**Enable**
- 「Enable」に設定している場合、スタンバイ状態での消費電力が増加します。

## ■ Update

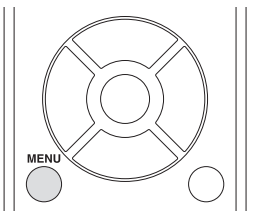
本機のファームウェアをアップデートできます。アップデート中は、本機の電源をスタンバイにしないでください。
- アップデート手順は「ファームウェアアップデート」をご覧ください。

## ファームウェアアップデート

ネットワーク経由または USB 経由でファームウェアをアップデートできます。
最新ファームウェアは、Onkyo ホームページで公開しています。( ファームウェアが掲載されていない場合、更新はありません )

**免責事項**
本プログラムおよび付随するオンラインドキュメンテーションは、お客様の責任においてご使用いただくために提供されます。弊社は、法理に関わらず、また不法行為や契約から生じるかを問わず、本プログラムまたは付随するオンラインドキュメンテーションの使用に際して生じたいかなる損害および請求に対して責任を負うものではなく、賠償することもありません。
弊社は、いかなる場合においても、補償、弁済、損失利益または逸失利益、データの損失その他の理由により生じた損害を含む（ただしこれらに限定されない)、特別損害、間接的損害、付随的又は派生的損害について、お客様または第三者に対して一切の責任を負いません。

現在のファームウェアのバージョンは以下の方法で確認できます。
1. メニュー (MENU) ボタンを押します。




2. 方向 (∧/∨) ボタンで「Update」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
3. 方向 (∧/∨) ボタンで「Version」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。

## ■ ネットワーク経由で更新する

ネットワーク接続してファームウェアをアップデートできます。

**アップデートする際の注意**

- 本機の電源が入っていることと、ネットワークに接続されていることを確認してください。
- アップデート中は絶対に本機の接続を外したり電源を落としたりしないでください。
- アップデート中は絶対にLANケーブルを抜き差ししないでください。
- アップデート中は絶対に電源コードを抜き差ししないでください。
- アップデート中はPCから本機にアクセスしようとしないでください。
- アップデート完了まで約 5 分かかります。
- アップデート完了後も、お客様が行った諸設定は保持されます。
- アップデートを始める前に、再生中のインターネットラジオ、iPod/iPhone、USB またはサーバーなどを止めてください。

### アップデート手順

1. メニュー (MENU) ボタンを押します。
2. 方向 (∧/∨) ボタンで「Update」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   - 「Not Available」が表示されて「Update」が選択できない場合は、しばらくお待ちください。
3. 方向 (∧/∨) ボタンで「CR via NET?」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   - アップデートが可能なファームウェアが存在しない場合は、選択項目が表示されないため、選択できません。
4. 「UpdateStart?」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   本機はアップデートを開始します。
5. アップデートが完了すると「Completed」というメッセージが本機の表示部に表示されます。
6. 前面パネルの ⏻ ON/STANDBY ボタンを押すと、本機はスタンバイ状態になります。
   - このときリモコンの ⏻ ボタンは使用しないでください。
   - 3 分間何もしなかった場合も、自動的にスタンバイ状態になります。

   これでアップデートは完了です。本機は最新のファームウェアに更新されました。

### エラーが表示されたときは

エラー時は、本機の表示部で「Error!! *-**」と表示されるか、またはエラーメッセージが表示されます。（アスタリスクは表示される英数字を表しています）エラーコードを参照し、確認してください。

**エラーコード**

***-10**、***-20** : LAN ケーブルが認識できません。LAN ケーブルを正しく接続してください。

***-11**、***-13**、***-21**、***-28** : インターネットに接続できません。下記の項目を確認してください。

- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS サーバーが正しく設定されているか確認してください。
- ルーターの電源が入っているか確認してください。
- 本機とルーターが LAN ケーブルでつながっているか確認してください。
- ルーターの設定を確認してください。設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。
- ご利用のネットワーク環境が複数機器からの接続を許可していない場合は、本機からネットワーク接続できない恐れがあります。ISP（インターネットサービスプロバイダ）にご確認ください。
- お使いのモデムにルーター機能がない場合は、別途ルーターが必要です。ネットワーク接続環境によっては、プロキシサーバーを設定する必要があります。設定については、ご利用の回線業者やプロバイダの資料をご確認ください。
- それでもインターネットにつながらないときは、DNS サーバーまたはプロキシサーバーが停止している可能性があります。サーバーの稼働状況をプロバイダにご確認ください。

**その他 :** 一度電源プラグを抜いた後コンセントに差し込み、最初からやり直してください。

## ■ USB 経由で更新する

USB 端子を利用してファームウェアをアップデートできます。

- アップデートには、容量が 32MB 以上の USB メモリーが必要です。

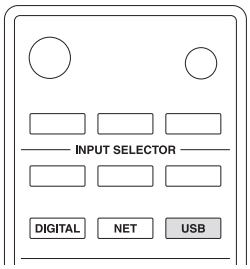
**アップデートする際の注意**

- アップデートする前に、再生を停止し、USB 端子への接続をすべて外してください。
- アップデート中は、絶対に本機の電源をスタンバイにしたり、電源コードやアップデート用 USB メモリーを抜かないでください。
- アップデート中はPCから本機にアクセスしようとしないでください。
- アップデート完了まで約 5 分かかります。
- アップデート完了後も、お客様が行った諸設定は保持されます。

### アップデート手順

1. お使いの PC に USB メモリーを接続し、USB メモリー内にファイルがある場合は消去します。
2. 当社ホームページから PC にファームウェア・ファイルをダウンロードします。
   ダウンロードしたファイルを PC 上で解凍してください。
   - 解凍したファイルのファイル名は変更しないでください。
3. 解凍したファイルを USB メモリーのルートフォルダにコピーします。
   - 解凍したファイル以外はコピーしないでください。解凍前のファイルもコピーしないでください。
4. 本機の電源が入っていることを確認します。
5. 解凍したファイルをコピーした USB メモリーを USB 端子に接続します。

6. USB ボタンをくり返し押して、「USB(F)」（前面パネル）「USB(R)」（後面パネル）から USB メモリーを接続した端子を選びます。




表示部に「Now Initializing...」と表示された後、USB メモリー名が表示されます。
- USB メモリーを認識するのに 20 ～ 30 秒かかります。

7. メニュー (MENU) ボタンを押してメニューを表示させ、方向 (∧/∨) ボタンで「Update」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
8. 方向 (∧/∨) ボタンで「CR via USB?」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   - アップデートが可能なファームウェアが存在しない場合は、選択項目が表示されないため、選択できません。
9. 「UpdateStart?」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。
   本機はアップデートを開始します。
10. 「Completed」表示後に、USB メモリーを抜きます。
11. 前面パネルの ⏻ ON/STANDBY ボタンを押すと、本機はスタンバイ状態になります。
    - このときリモコンの ⏻ ボタンは使用しないでください。
    - 3 分間何もしなかった場合も、自動的にスタンバイ状態になります。

    これでアップデートは完了です。本機は最新のファームウェアに更新されました。

## エラーが表示されたときは

エラー時は、本機の表示部で「Error!! *-**」と表示されるか、またはエラーメッセージが表示されます。( アスタリスクは表示される英数字を表しています ) エラーコードを参照し、確認してください。

### エラーコード

***-10**、***-20** : USB メモリーが認識できません。USB メモリーが、本機の USB 端子にしっかりと差し込まれているか確認してください。

***-14** : USB メモリーのルートフォルダにファームウェアファイルが存在しない、お使いの機種と異なるファームウェアファイルが使用されている、などが考えられます。

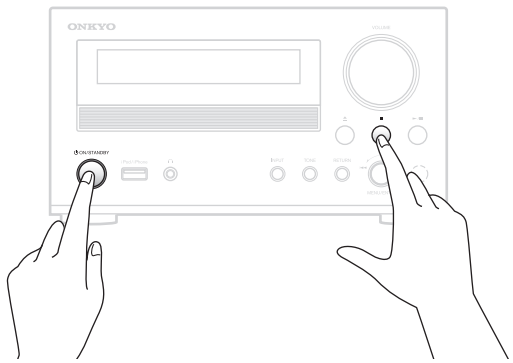
**その他** : 一度電源プラグを抜いた後コンセントに差し込み、最初からやり直してください。

# 困ったときは

**はじめにお読みください**
トラブルは接続や設定、操作方法を見直す以外にも、電源のオン / オフ、電源コードの抜き差しで改善することがあります。本機や接続している機器の両方でお試しください。

## ■ 工場出荷状態に戻すには

本機が正常に動作しない場合、以下の手順で工場出荷時の初期設定状態に戻すことによって、正常な状態に戻ることがあります。
電源を入れた状態で停止 (■) ボタンを押したまま
⏻ ON/STANDBY ボタンを押します。



## ■ 電源 / リモコン

### 電源が入らない
- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから、再度コンセントに差し込んでください。

### 表示部に「Now Initializing...」と表示される
- 入力ソースが USB または NET の状態で電源を入れると、入力を認識するまでに 20 ～ 30 秒かかります。

### 本機の電源が切れる
- オートスタンバイ (Auto Standby) 機能を有効にすると、一定の条件下で自動的にスタンバイ状態に移行します。「各種の設定」の「メニュー設定」の「ASb (Auto Standby)」を参照して設定を確認してください。

### リモコンで操作できない
- 電池の極性（+ / −）が、表示通り正しく入っているか確認してください。
- 電池が消耗している場合は、新しい電池に交換してください。
- リモコンは本体の正面から 5 メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
- 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。

## ■ 音声

### 音が出ない
- 入力ソースが正しく選択されているか確認してください。
- 表示部に「MUTING」と表示されている場合、リモコンのミューティング (MUTING) ボタンを押して解除してください。
- スピーカーが正しく接続されているか確認してください。
- すべてのケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーから音声が出力されません。
- ヘッドホンから音が出ない場合は、接触不良が考えられます。ヘッドホンの取扱説明書をご覧ください。

### 雑音がする、音が良くない
- スピーカーコードの +/– が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体の L 端子、右側のスピーカーは R 端子に接続してください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に精密部品がディスクを読み取る音が聴こえる場合があります。
- 電源投入後 10～30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンケーブルは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

## ■ CD 再生

### 再生できない
- ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RW を再生できないことがあります。
- ファイナライズされていない CD-R/CD-RW は本機で再生できません。

### 音飛びする
- 振動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- 傷が付いたり、ひびが入っているディスクは使わないでください。

## ■ 音楽ファイル

### 再生できない
- ファイルのフォーマットを確認してください。再生可能ファイルは「対応機器 / メディアとファイル形式」の「ファイル形式」をご覧ください。

### 曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない
- ファイルに ID3 タグが入っていません。PC などで ID3 タグを編集した MP3 ファイルを作成し直してください。

### 正しく表示されない文字がある
- 表示部に正しく表示できない文字は、「*」で表示されます。MP3/WMA ファイル情報の場合、表示できない文字を含んでいるときは番号で表示するように設定することもできます。「各種の設定」の「メニュー設定」の「BAD NAME」をご覧ください。

## ■ インターネットラジオ

### インターネットに接続できない
- 同じネットワークに接続している PC が、インターネットに接続できるか確認してください。
- ネットワーク接続のパスワードが間違っていないか確認してください。
- ネットワークのファイヤーウォールの設定を確認してください。
- 放送局 / ポッドキャストが現在は配信されていないかもしれません。
- 放送局 / ポッドキャストへのアドレスが変更されたかもしれません。
- 放送局 / ポッドキャストの登録者が規定の数に達しているため、すでに公開されていないかもしれません。
- インターネット接続速度が遅すぎると、サーチに時間がかかることがあります。

### インターネットラジオ / ポッドキャストが再生できない
- 発信者側で、インターネット接続の一時的な不具合が発生していることがあります。
- インターネットに正しく接続されているか確認してください。

## ■ USB 再生

### 再生できない
- USB ストレージや USB ケーブルが本機の USB 端子にしっかりと差し込まれているか確認してください。
- USB ストレージをいったん本機から外し、再度接続してみてください。
- 本機の USB 端子から電源供給を受けるタイプのハードディスクの動作は保証できません。
- コンテンツの種類によっては正常に再生できないことがあります。対応フォーマットをご確認ください。
- セキュリティ機能付きの USB ストレージの動作は保証できません。
- 本機では USB Mass Storage Class 規格に対応している USB ストレージを使用できます。規格に対応した USB のなかには、再生できないものがあります。
- USB ストレージのフォーマットが、FAT16、FAT32 であることを確認してください。
- 本機はハブおよびハブ機能付き USB 機器に対応していません。

## ■ iPod/iPhone

### 再生できない
- iPod/iPhone をいったん USB 端子から外し、数秒経ってからもう一度接続してみてください。
- 最新の iPod/iPhone ソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

### iPod/iPhone の操作ができない
- iPod/iPhone のホールドを解除してください。
- iPod/iPhone 側で音量の調節はできません。

### RI 機能が正しく働かない
- RI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- iPod/iPhone をリセットしてください。

## ■ 充電機能

### 充電機能が働かない
- 「SleepCharge」の設定が「On」になっているか確認してください。
- 以下の iPod/iPhone は、充電機能に対応していません。
  iPod touch ( 第 1、第 2、第 3 世代 )、iPod nano ( 第 2、第 7 世代 )、iPhone 3GS、iPhone 3G
- iPod/iPhone の充電電池が完全に消耗していないか確認してください。その場合は、一度本機の電源を入れ直すことで充電が開始されます。
- 本機では USB Mass Storage Class 規格に対応している USB ストレージを使用できます。規格に対応した USB ストレージのなかには、電源供給できないものがあります。

## ■ AM/FM ラジオ

### 放送に雑音が入る
### 放送局が受信できない
- アンテナの接続をもう一度確認してください。
- アンテナの位置を変えてみてください。
- アンテナをテレビやコンピューター、電源コードやスピーカーコードから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FM モードをモノラルに変更してみてください。
- AM 放送を聴いているとき、リモコンを操作すると雑音が聴こえる場合があります。

- 電波が悪いときは市販の室内アンテナまたは、屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。
- 停電などで登録した放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。

## ■ DLNA

### ネットワークに接続できない

- ネットワークのファイヤーウォールの設定を確認してください。
- 同じネットワークに接続している DLNA サーバーが、ネットワークに接続できるか確認してください。
- DLNA サーバーの接続パスワードが間違っていないか確認してください。
- DLNA サーバーがシャットダウン / スリープ状態になっていないか確認してください。
- ネットワーク認証に問題があると考えられます。NET ボタンを押して、「DLNA」を再度選んでください。

### 曲が見つからない

- Windows Media Player のライブラリに曲を追加してください。
- Windows のデバイス一覧で本機を選んでください。
- アンチウィルスソフトやセキュリティソフトを使用している場合は、本機が PC に接続できない場合があります。

## ■ 共有フォルダ

### フォルダ / ファイルが見つからない

- フォルダ / ファイル共有の設定をしてください。
- 共有フォルダにファイルを追加してください。
- ユーザーアカウントのパスワードが間違っていないか確認してください。
- ファイル形式を確認してください。
- アンチウィルスソフトやセキュリティソフトを使用している場合は、本機が PC に接続できない場合があります。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CD レンタル料等）については保証対象になりませんので、大事な録音をするときにはあらかじめ正しく録音できることを確認の上、操作を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約 5 秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

# 仕様

## ■ アンプ部

定格出力 : 22 W+22 W (4 Ω、1 kHz、全高調波歪率 0.4 % 以下、2 ch 駆動時 )
実用最大出力 : 30 W+30 W (4 Ω、1 kHz、2 ch 駆動時、JEITA)
総合ひずみ率 : 0.4 % (1 kHz、1 W)
ダンピングファクター : 58 (Front、1 kHz、8 Ω)
入力感度 / インピーダンス : 150 mV/47 kΩ (LINE)
RCA 定格出力電圧 / インピーダンス : 150 mV/470 Ω (LINE OUT)
周波数特性 : 10 Hz ～ 100 kHz/±3 dB (LINE1)
トーンコントロール最大変化量 :
Bass：±6 dB (80 Hz 時 )
Treble：±8 dB (10 kHz 時 )
PM.Bass：+8 dB (30 Hz 時 )
SN 比 : 100 dB (LINE、IHF-A)
スピーカー適応インピーダンス : 4 Ω ～ 16 Ω
ヘッドホン対応インピーダンス : 16 Ω ～ 600 Ω
ヘッドホン実用最大出力 : 350 mW+350 mW、33 Ω 負荷

## ■ AM/FM チューナー部

FM 受信範囲 : 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
AM 受信範囲 : 522 kHz ～ 1629 kHz
プリセットチャンネル数 : 40

## ■ CD 部

読取り方式 : 非接触光学式
周波数特性 : 10 Hz ～ 20 kHz
ダイナミックレンジ : 96 dB
全高調波歪率 : 0.003 % (30 kHz LPF)
ワウ・フラッター : 測定限界以下
音声出力電圧 / インピーダンス : 2.0 V (rms)/320 Ω

## ■ 総合

電源・電圧 : AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 : 70 W
無音時消費電力 : 35 W
待機時電力 : 0.1 W
最大外形寸法 : 215（幅）× 119（高さ）× 331（奥行）mm
質量 : 5.0 kg

### 音声入力

デジタル : Optical：1
Coaxial：1
アナログ : LINE1、LINE2、AUX

### 音声出力

アナログ : LINE OUT
サブウーファープリ : 1
スピーカー : Main（L、R）
ヘッドホン : 1（3.5 φ）

### その他

RI : 1
USB : 2
イーサネット : 1

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

# 対応機器 / メディアとファイル形式

## 対応機器 / メディア

### ■ CD

**本機で再生できるディスク**

以下のロゴマークのある CD

音楽 CD フォーマットで正しく記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。または、MP3/WMA ファイルが記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。

- 上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷つける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。
- コピーコントロール CD や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。
- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

**使用上の注意**

- ひびが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- プリンターでラベル面への印刷が可能な CD-R/CD-RW を本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となる恐れがあります。必要なとき以外は、ディスクを取り出してケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは特に貼り付きやすいので、使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものは使用しないでください。CD が取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

**ディスクの取り扱い**

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面 ( レーベルがない面 ) に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。
- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

**ディスクの保存について**

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりや傷の原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなる恐れがあります。
- CD-R/CD-RW は、通常の CD と比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

**お手入れ**

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

**PC を使って MP3/WMA ディスクを作成する際の注意**

- ISO9660レベル2のファイルシステムに従って記録してください。対応している階層は ISO9660 レベル 1 と同じ 8 階層までです。
- HFS（hierarchical file system）ファイルシステムで記録されたディスクは再生できません。
- MP3/WMAファイルの認識はファイル拡張子(MP3の場合は「.mp3 」、WMA の場合 「.wma」) で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- CD-R/CD-RW への記録後は、クローズセッション ( ディスクの作成を完了 ) してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。
- 本機で再生できる最大フォルダ数は 99 です。また、フォルダ ( ルートを含む ) とファイルの合計が 399 まで認識、再生することができます。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- 著作権保護された音楽ファイルは本機で再生することはできません。
- データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。

## ■ USB ストレージ

本機では USB Mass Storage Class 規格に対応している USB ストレージを使用できます。

- USB ストレージのフォーマットは、FAT16、FAT32 に対応しています。
- USB ストレージがパーティションで区切られている場合、本機では複数の USB ストレージとして認識されます。
- 1 フォルダにつき 20000 曲まで、フォルダは 16 階層まで対応しています。
- 本機はハブおよびハブ機能付き USB 機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- 後面パネルのUSB端子(USB(R))にUSBストレージを接続した場合、以下のファイルは再生できません。
  ビットレート 176.4 kHz 以上の WAV ファイル
  DSD 5.6448 MHz のファイル
- 接続したメディアが対応していない場合、本機の表示部に「No storage」というメッセージが表示されます。
- 著作権保護された音声ファイルは本機では再生できません。
- USB 対応オーディオプレーヤーと本機を接続した場合、オーディオプレーヤーの画面と本機の表示が異なる場合があります。またオーディオプレーヤーに依存する管理機能（音楽ファイルの分類、ソート、付加情報など）は本機では使用できません。
- 本機の USB 端子に PC を接続しないでください。本機の USB 端子には PC から音声を入力できません。
- USB カードリーダーに挿したメディアは使えないことがあります。
- USB ストレージやその内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- USB ストレージによっては、正しく内容を読み込めなかったり、電源が正しく供給されなかったりする場合があります。
- USB ストレージの使用に際して、データの損失や変更、USB ストレージの故障などが発生しても当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- USB ストレージに保存されているデータは、本機でのご使用の前にバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 本機の USB 端子から電源供給を受けるタイプのハードディスクの動作は保証できません。
- USB ストレージに AC アダプターが付属している場合は、AC アダプターをつないで家庭用電源でお使いください。
- 電池で動作するオーディオプレーヤーを使う場合は、電池の残量が充分にあることを確認してください。
- 本機はセキュリティ機能付き USB メモリーに対応していません。

## ■ iPod/iPhone

以下の Apple 製品を本機に接続して使うことができます。

iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5
iPhone 4s、iPhone 4
iPhone 3GS、iPhone 3G
iPod touch ( 第 1、第 2、第 3、第 4、第 5 世代 )
iPod classic
iPod nano ( 第 2、第 3、第 4、第 5、第 6、第 7 世代 )

- 本機では、iPod/iPhone のビデオは出力できません。
- 本機の USB 端子に iPod/iPhone を接続するには、iPod/iPhone に付属の USB ケーブルをお使いください。
- お使いのiPod/iPhoneが本体やリモコンの操作ボタンで正常に動作しない場合、最新の iPod/iPhone ソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

## ■ ネットワークサーバー

本機は以下のネットワークサーバー に対応しています。

Windows Media Player 11
Windows Media Player 12
DLNA 準拠サーバー

- 1 フォルダにつき 20000 曲まで、フォルダは 16 階層まで対応しています。
- DLNA とは、Digital Living Network Alliance の略称で、ホームネットワーク (LAN) によって PC やゲーム機、デジタル家電を相互に接続し、音楽や画像、動画などのデータをやりとりするための標準化を進めている団体の名称です。本機は、DLNA ガイドライン V1.5 に準拠しています。
- メディアサーバーの種類によっては、本機から認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。

# ファイル形式

## ■ CD

本機は音楽 CD フォーマット (CD-DA) と MP3/WMA 形式で記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

- VBR(Variable Bit Rate) に対応しています。VBR 再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

### MP3

拡張子　.mp3、.MP3
規格　MPEG1 Audio Layer-3
サンプリング周波数
32 k/44.1 k/48 kHz
ビットレート　32 k ～ 320kbps および VBR

### WMA

拡張子　.wma、.WMA
サンプリング周波数
32 k/44.1 k/48 kHz
ビットレート　32 k ～ 192 kbps および VBR

- WMA Pro、Lossless および Voice には対応していません。
- 著作権保護された WMA ファイルは本機では再生できません。

## ■ USB/ ネットワーク

USB、ネットワーク経由で再生できる音楽ファイルは以下の通りです。

- 本機は USB 再生における下記条件時でのギャップレス再生に対応しています。
  WAV, FLAC, Apple Lossless 再生時、同一のフォーマット、サンプリング周波数、チャンネル数、量子化ビット数が連続再生される場合
- リモート再生は、以下に対応していません。
  ギャップレス再生
  FLAC、Ogg Vorbis、DSD
- VBR(Variable Bit Rate) に対応しています。VBR 再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

### MP3

拡張子　.mp3、.MP3
規格　MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer-3
サンプリング周波数
8 k/11.025 k/12 k/16 k/22.05 k/24 k/32 k/44.1 k/48 kHz
ビットレート　8 k ～ 320 kbps および VBR

### WMA

拡張子　.wma、.WMA
サンプリング周波数
8 k/11.025 k/16 k/22.05 k/32 k/44.1 k/48 kHz
ビットレート　5 k ～ 320 kbps および VBR

- WMA Pro/Voice には対応していません。

### WMA Lossless

拡張子　.wma、.WMA
サンプリング周波数
44.1 k/48 k/88.2 k/96 kHz
量子化ビット数　16/24 ビット

### WAV

拡張子　.wav、.WAV
サンプリング周波数
8 k/11.025 k/12 k/16k/22.05 k/24 k/32 k/44.1 k/48 k/64 k/88.2 k/96 k/176.4k/192 kHz
量子化ビット数　8/16/24 ビット

- WAVファイルは非圧縮のPCMデジタルオーディオを含みます。

### AAC

拡張子　.aac、.m4a、.mp4、.3gp、.3g2、AAC、.M4A、.MP4、.3GP、.3G2
規格　MPEG-2/MPEG-4 Audio
サンプリング周波数
8 k/11.025 k/12 k/16 k/22.05 k/24 k/32 k/44.1 k/48 k/64 k/88.2 k/96 kHz
ビットレート　8 k ～ 320 kbps および VBR

### FLAC

拡張子　.flac、.FLAC
サンプリング周波数
8 k/11.025 k/12 k/16 k/22.05 k/24 k/32 k/44.1 k/48 k/64 k/88.2 k/96 k/176.4 k/192 kHz
量子化ビット数　8/16/24 ビット

### Ogg Vorbis

拡張子　.ogg、.OGG
サンプリング周波数
8 k/11.025 k/16 k/22.05k/32k/44.1 k/48 kHz
ビットレート　32 k ～ 500 kbps および VBR

- 互換性のないファイルは再生できません。

### LPCM (Linear PCM)

サンプリング周波数
44.1 k/48 kHz
量子化ビット数　16 ビット

- ネットワーク経由での再生のみに対応しています。

### Apple Lossless

拡張子　.m4a、.mp4、.M4A、.MP4
サンプリング周波数
8 k/11.025 k/12 k/16 k/22.05 k/24 k/32 k/44.1 k/48 k/64 k/88.2 k/96 kHz
量子化ビット数　16/24 ビット

### DSD

拡張子　.dsf、.DSF
サンプリング周波数
2.8224 M/5.6448 MHz

# 商標

iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、
iPod touch は、米国および他の国々で登録された
Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、
アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
「Made for iPod」、「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod、iPhone 専用に接続するよう設計され、
アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
この製品と iPod、iPhone を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。

Apple および App Store の名称およびそのロゴは、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Android、Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。

Windows および Windows ロゴは米国
Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DLNA、DLNA CERTIFIED は、
Digital Living Network Alliance の商標または登録商標です。

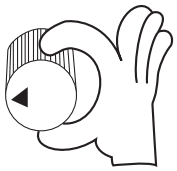
DSD および Direct Stream Digital ロゴは、
ソニー株式会社の登録商標です。

VLSC、Music Optimizer、DIDRC および WRAT は
オンキヨー株式会社の商標です。

その他記載された会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

**音のエチケット**

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



## 免責事項

外部サービスのご利用にあたって
本製品は外部の音楽配信サービスまたはウェブサイト（以下「外部サービス」とします）に接続することが可能です。この利用規約は、本製品を通じて外部サービスに接続する際の利用に関する諸条件を定めるものです（以下「本規約」とします）。
また、外部サービスをご利用の場合は、本規約に同意いただいたものとみなします。

1. 定義
   (1) 「当社」とは、本製品を設計、製造、販売し、または第三者に設計、製造、販売させた会社及びその関係会社をいいます。
   (2) 「コンテンツ」とは、楽曲、歌詞及びその録音物や録画物（ミュージックビデオ等の映像）、楽曲名、カバーアート、アーティスト画像、その他、外部サービスにより提供される電子データファイルの総称をいいます。
2. 非保証
   (1) 外部サービスの利用に関して、本製品またはお客様が使用されている通信機器、通信ソフト等の一切のサポートならびに各種プロバイダとの接続に関する苦情等は一切受付けないものとし、お客様の通信環境または外部サービスのサポート状況によって、外部サービスをご利用いただけない場合に関しましても、当社は保証致しかねます。
   (2) お客様は、外部サービスのご利用にあたり、通信回線の接続状況または通信速度、お客様が使用する通信機器類の性質等の理由により、外部サービスの品質が影響を受ける可能性があることを事前に承諾するものとし、当社は予見可能性の有無を問わず、外部サービスの均一性、再現性、安定性、同質性ならびにお客様の期待される水準への合致等の品質または特定目的への適合性について、何らの保証を行うものではありません。
   (3) 外部サービスにより提供されるコンテンツまたはサービスの内容及び権利の帰属について、当社は一切保証致しません。
3. 免責
   外部サービスの提供の遅滞または不能、外部サービスにより提供される情報等の未到達その他外部サービスに関連して生じたいかなる損害についても、当社は理由の如何を問わず一切責任を負いません。
4. 権利義務の譲渡禁止
   お客様は、当社の事前の書面による承諾によらず、本規約に基づく権利義務の全部または一部について、第三者に譲渡、移転等の処分または担保権の設定等をしてはならないものとします。
5. 規約の変更・改訂
   (1) 当社は、お客様の承諾なくこの規約を変更または改訂できるものとします。
   (2) 当該変更または改訂は、本製品にかかる当社所定のウェブサイト上に掲示するものとし、掲示された時点で効力を生じるものとします。
6. お問い合わせ
   当社は外部サービスに関するいかなるお問い合わせもお受け致しかねます。
   外部サービスに関するお問い合わせは、お客様が直接外部サービスの事業者に対して行うものとします。
7. 準拠法及び管轄裁判所
   (1) 本規約は日本法に従って解釈されるものとします。
   (2) 本規約に関して紛争が生じた場合は、当社の本店所在地を管轄する裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

# ご相談窓口・修理窓口のご案内

**販売店の「長期保証」制度にご加入の場合は**：保証の手続き上、お買い上げになった販売店様での受付けが必要となります。長期保証期間内の製品は、店頭への修理品持込みをお願いいたします。

## ■ お電話による故障判定と、修理受付け

- 意外な操作ミスが故障と思われています。お問い合わせの前に取扱説明書をもう一度お調べください。
  また弊社ホームページサポート情報にもトラブル解決の FAQ が掲載していますので、ご参考ください。

**オンキヨーオーディオコールセンター**
**050-3161-9555**

（受付時間：10:00 ～ 18:00 土・日・祝日および弊社で定める休業日を除きます）

- 製品操作のご案内、リモコン等付属パーツのご要望、その他ご不明な点についても受付けております。
- スムーズな対応のため、お問い合わせの前に以下の情報をお調べください。
  - 製品の型番
  - 接続している他機器
  - できるだけ詳しい不具合状況
  - ご購入店名
  - ご購入年月日

## ■ メールによる修理お申込み

**http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm**
からお申込みいただけます。

## ■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は

下記の URL にて全国の修理拠点のご案内がございます。
**http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm**

### 保証書について

保証書の記載事項をご確認ください。また、所定事項をご記入いただき大切に保管してください。保証期間内に万一、故障や異常が生じたときは、保証書をご用意のうえ、上記相談窓口にご相談ください。

### 保証期間終了後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

### 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後、最大 8 年間保有しています。保有期間経過後でも故障箇所によっては、修理可能の場合がありますのでご相談ください。

ONKYO

**オンキヨー株式会社**
〒541-0041　大阪市中央区北浜二丁目2番22号 北浜中央ビル

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00～18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

F1409-1

SN 29401819A

(C) Copyright 2014 Onkyo Corporation Japan. All rights reserved.

* 2 9 4 0 1 8 1 9 A *